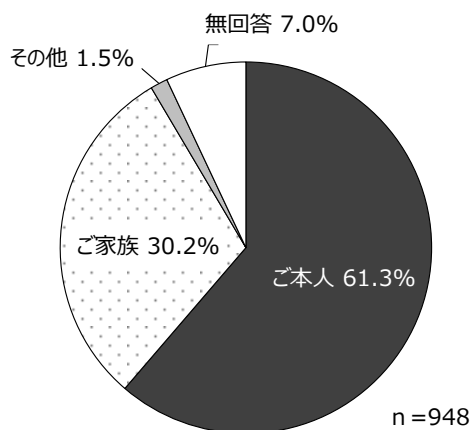


2 要支援・要介護認定者調査

あなたご自身のことについて

調査票を記入した人

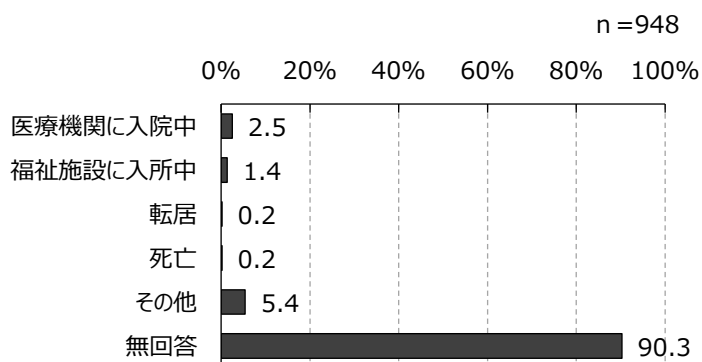
【図表 112】 調査票の記入者



記入者	人数
ご本人	582
ご家族	286
その他	14
無回答	66
合計	948

ご本人が何らかの事情によりご不在の場合

【図表 113】 不在の事情

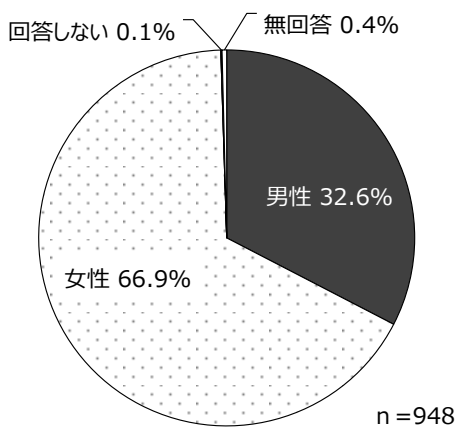


不在の事情	人数
医療機関に入院中	24
福祉施設に入所中	13
転居	2
死亡	2
その他	51
上記に該当しない	856
合計	948

2 要支援・要介護認定者調査

問1 性別を教えてください。

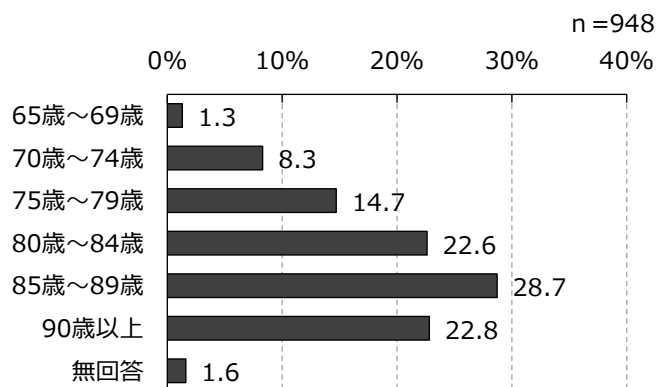
【図表 114】性別



性別	人数
男性	309
女性	634
その他	0
回答しない	1
無回答	4
合計	948

問2 年齢をご記入ください。

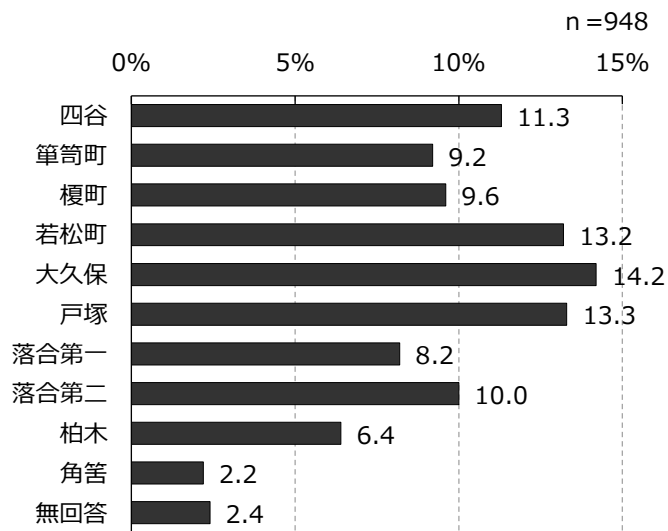
【図表 115】年齢



年齢	人数
65～69歳	12
70～74歳	79
75～79歳	139
80～84歳	214
85～89歳	273
90歳以上	216
無回答	15
合計	948

問3 あなたのお住まいは、どの特別出張所管内ですか。

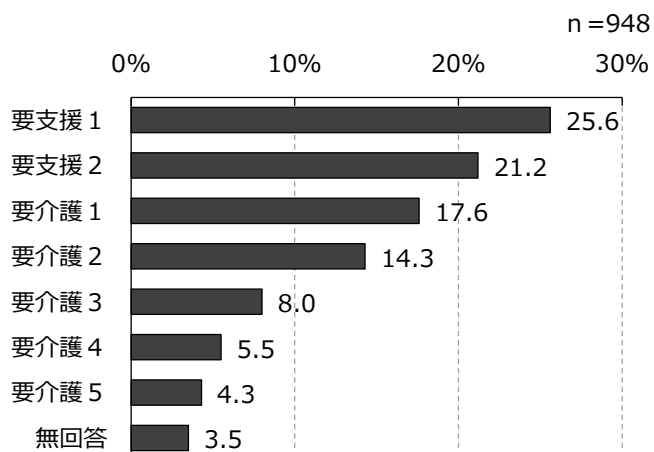
【図表 116】 居住地域



居住地域	人数
四谷	107
箆笥町	87
榎町	91
若松町	125
大久保	134
戸塚	126
落合第一	78
落合第二	95
柏木	61
角筈	21
無回答	23
合計	948

問4 あなたの現在の要介護度は、次のうちどれですか。

【図表 117】 現在の要介護度



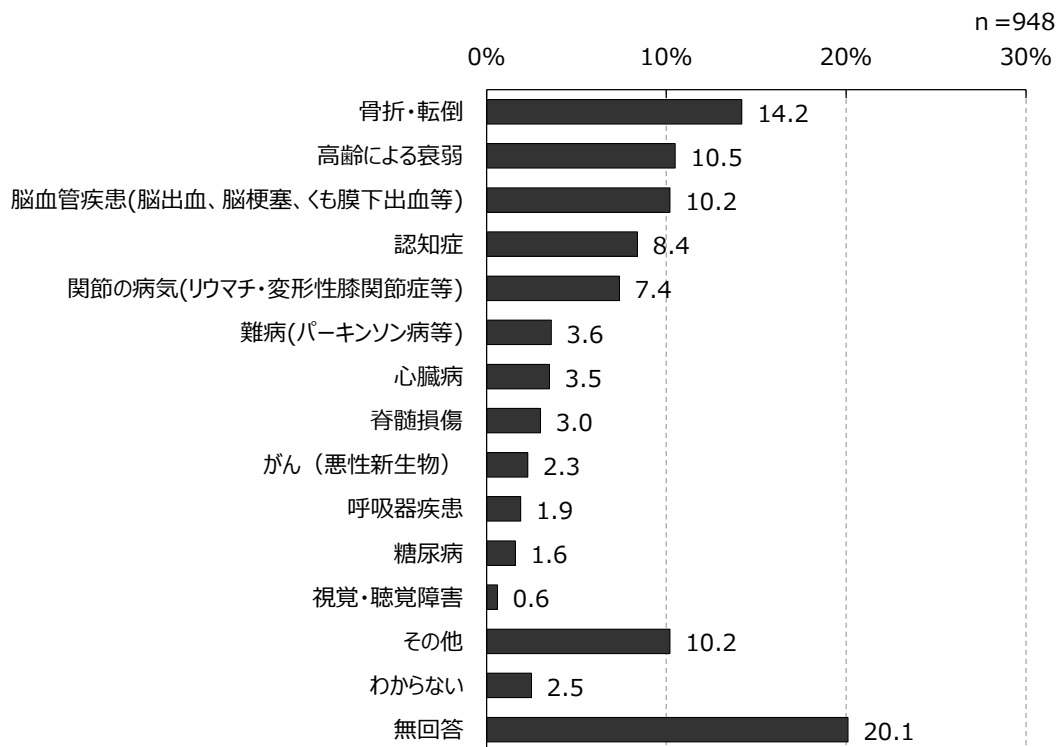
現在の要介護度	人数
要支援1	242
要支援2	201
要介護1	167
要介護2	136
要介護3	76
要介護4	52
要介護5	41
無回答	33
合計	948

2 要支援・要介護認定者調査

問5 あなたが、介護を必要とするようになった主な原因は、次のうちどれですか。

介護が必要になった主な原因については、「骨折・転倒」が14.2%と最も多く、次いで「高齢による衰弱」が10.5%、「脳血管疾患(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等)」が10.2%となっている。

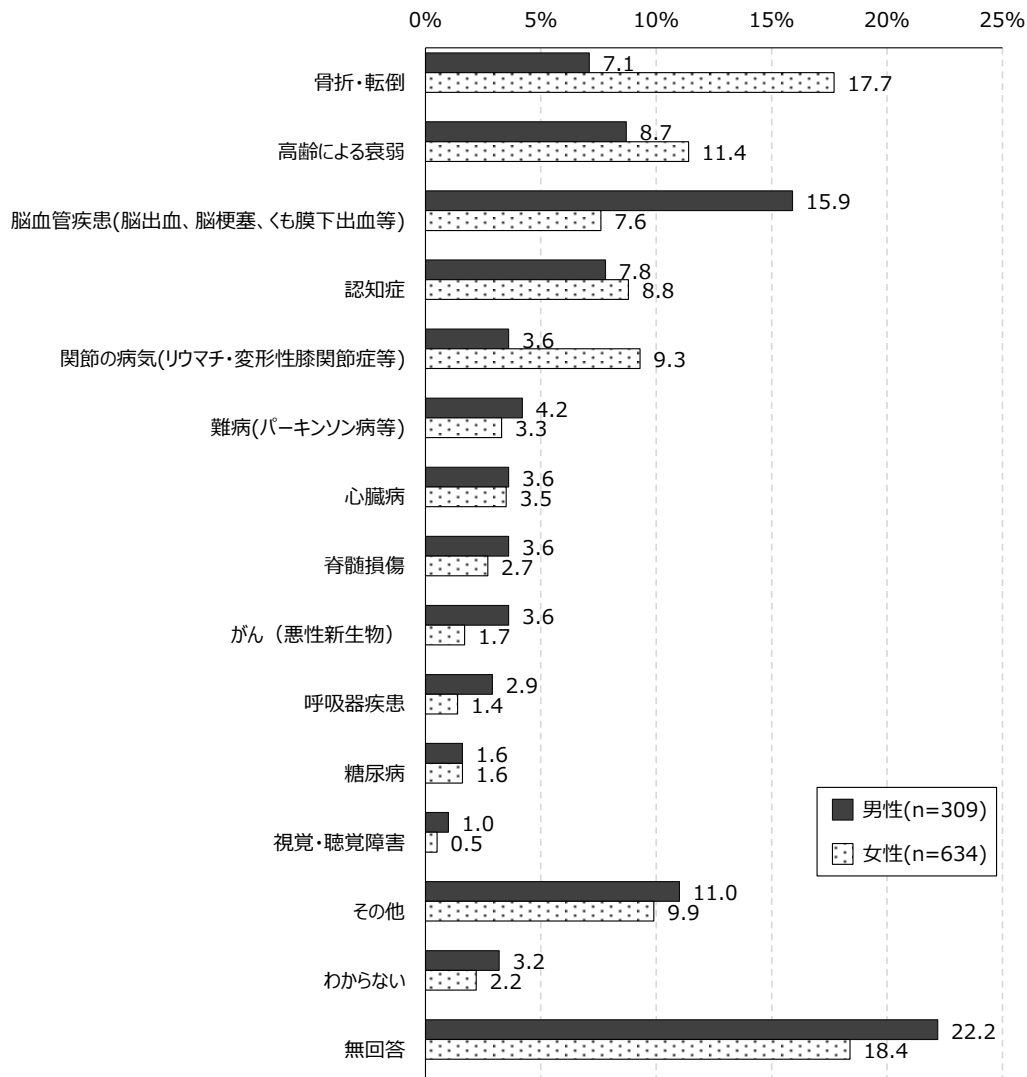
【図表 118】 介護が必要になった主な原因



■介護が必要になった主な原因〈性別〉

介護が必要になった主な原因について性別にみると、「脳血管疾患(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等)」は男性の方が女性より8.3ポイント高く、「骨折・転倒」は女性の方が男性より10.6ポイント高くなっている。

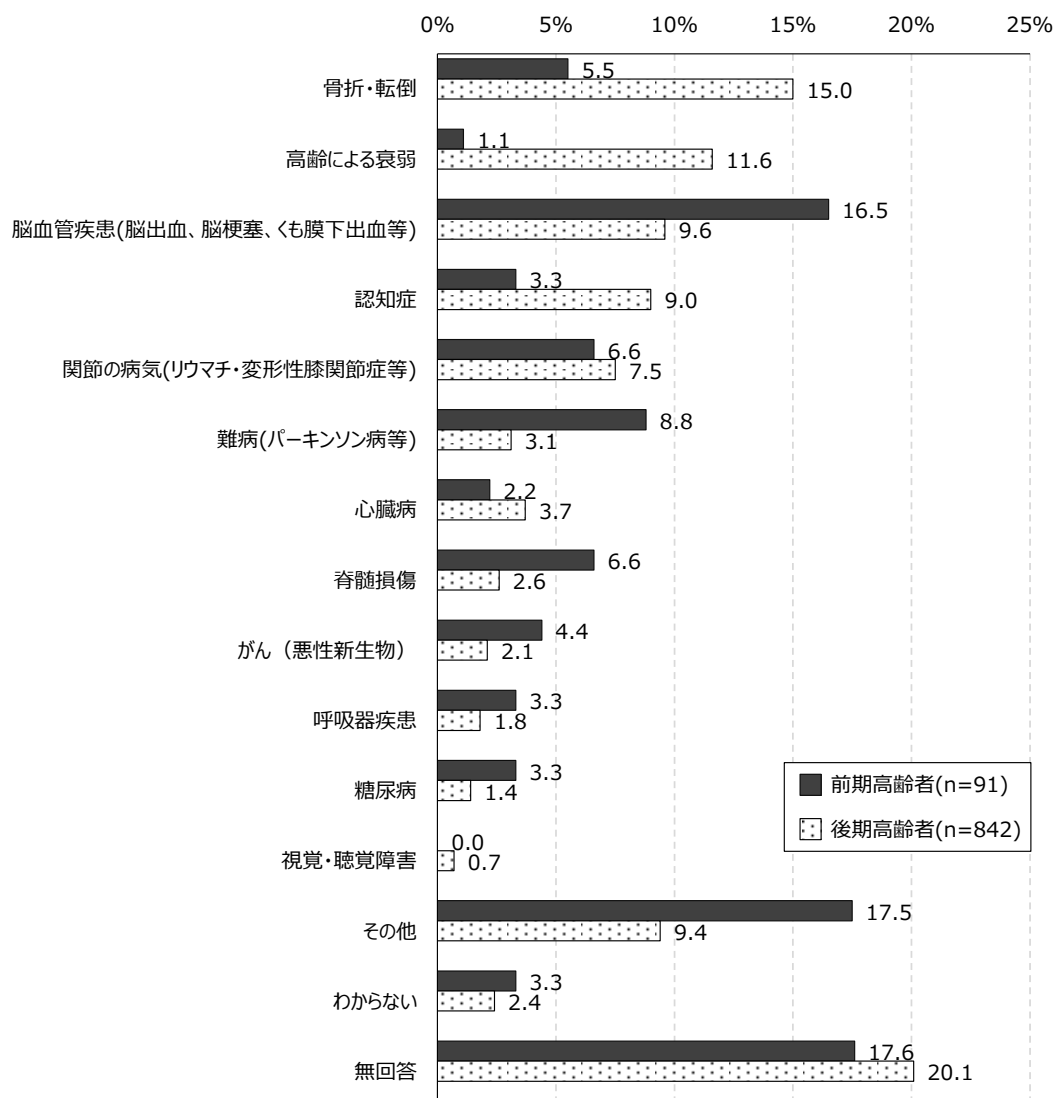
【図表 119】 介護が必要になった主な原因 〈性別〉



■介護が必要になった主な原因〈年齢別〉

介護が必要になった主な原因について年齢別にみると、「脳血管疾患(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等)」は前期高齢者の方が後期高齢者より6.9ポイント高く、「骨折・転倒」は後期高齢者の方が前期高齢者より9.5ポイント高くなっている。

【図表 120】 介護が必要になった主な原因 〈年齢別〉

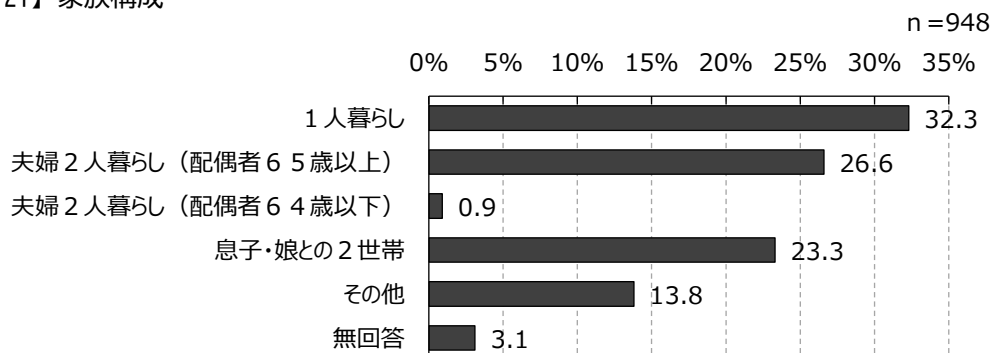


あなたのご家族や生活状況について

問6 家族構成を教えてください。

家族構成については、「1人暮らし」が32.3%と最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が26.6%、「息子・娘との2世帯」が23.3%となっている。

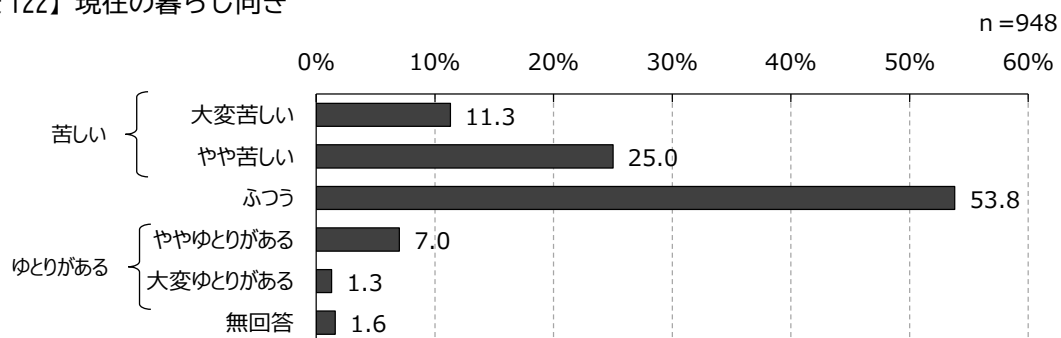
【図表 121】 家族構成



問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

現在の暮らしの経済的な状況については、「ふつう」が53.8%と最も多く、「大変苦しい」（11.3%）と「やや苦しい」（25.0%）を合わせた“苦しい”は36.3%となっている。一方、「ややゆとりがある」（7.0%）と「大変ゆとりがある」（1.3%）を合わせた“ゆとりがある”は8.3%となっている。

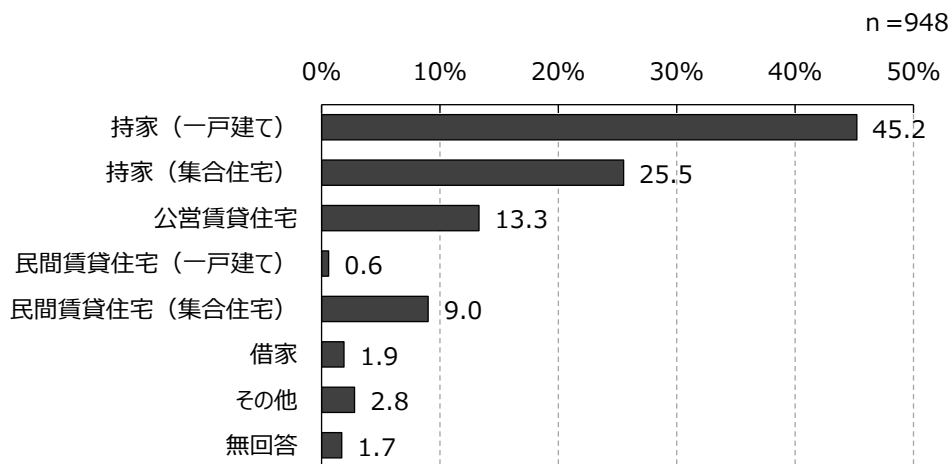
【図表 122】 現在の暮らし向き



問8 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

住まいについては、「持家（一戸建て）」が45.2%と最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が25.5%、「公営賃貸住宅」が13.3%となっている。

【図表 123】住居の形態



食べることについて

問9 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

問10 お茶や汁物等でむせることがありますか。

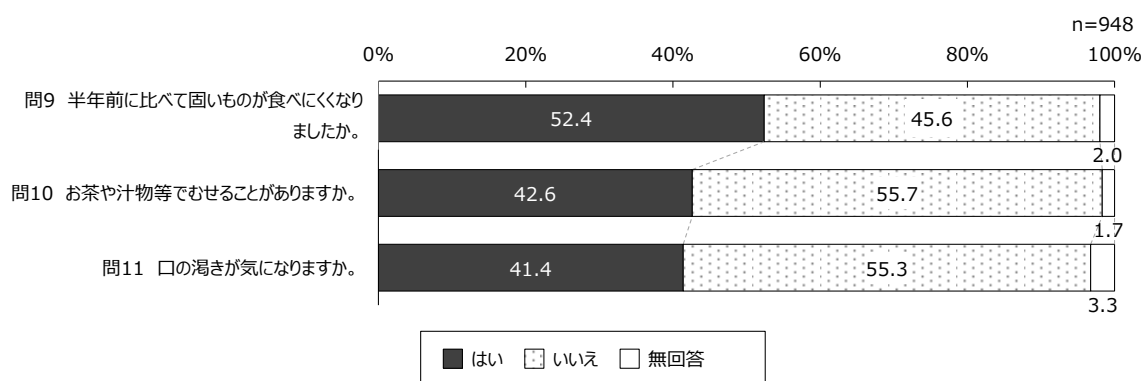
問11 口の渇きが気になりますか。

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかでは、「はい」が52.4%、「いいえ」が45.6%となっている。

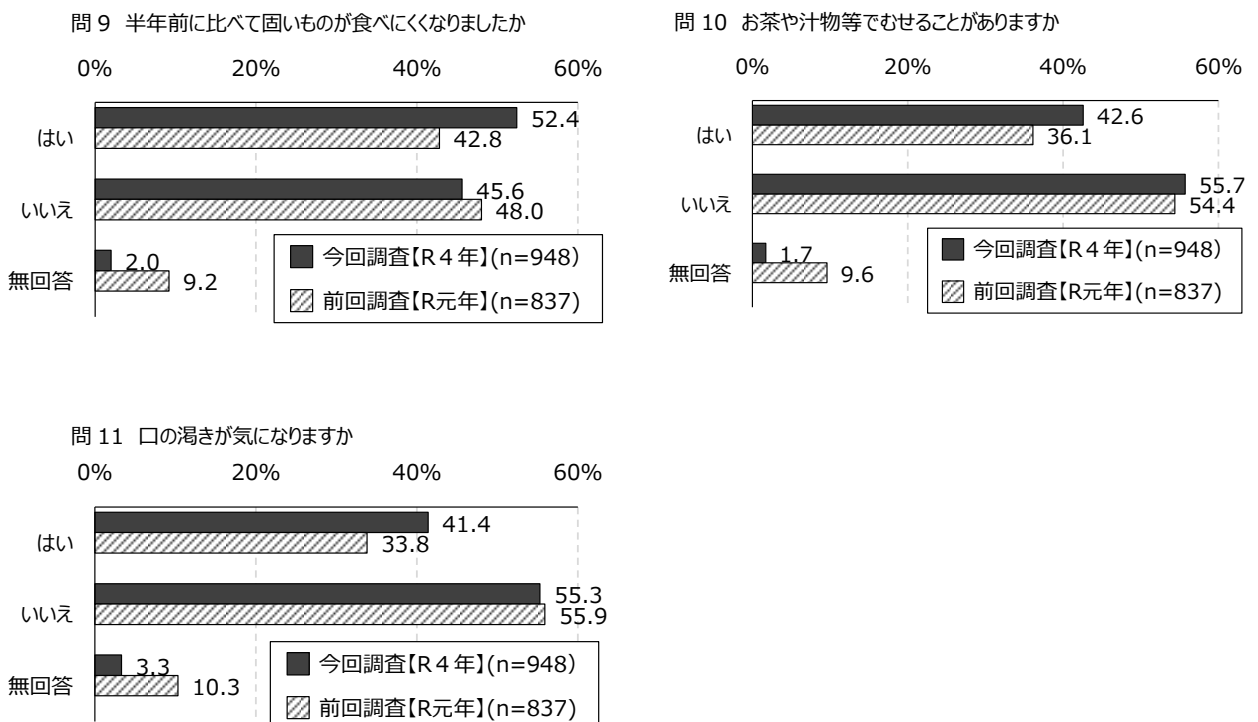
お茶や汁物等でむせることがあるかでは、「はい」が42.6%、「いいえ」が55.7%となっている。

口の渇きが気になるかでは、「はい」が41.4%、「いいえ」が55.3%となっている。

【図表 124】口腔機能について



【図表 125】口腔機能について〈前回比較〉

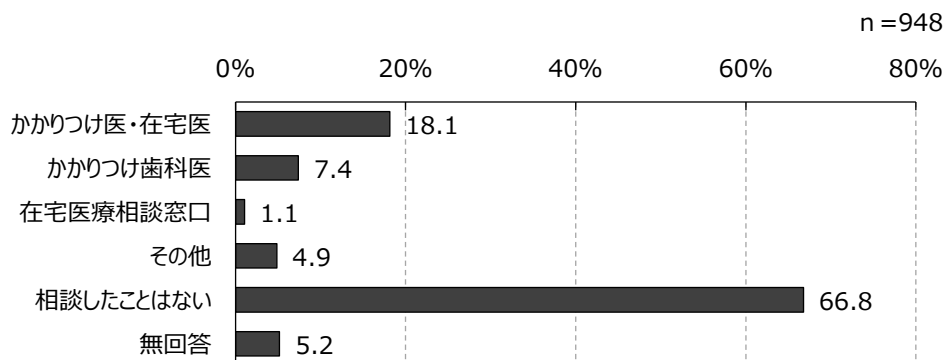


2 要支援・要介護認定者調査

問12 摂食嚥下(食べたり、飲み込んだりすること)についてどこかに相談したことがありますか。(複数回答)

摂食嚥下についてどこかに相談したことがあるかについては、「相談したことはない」が66.8%と最も多く、次いで「かかりつけ医・在宅医」が18.1%、「かかりつけ歯科医」が7.4%となっている。

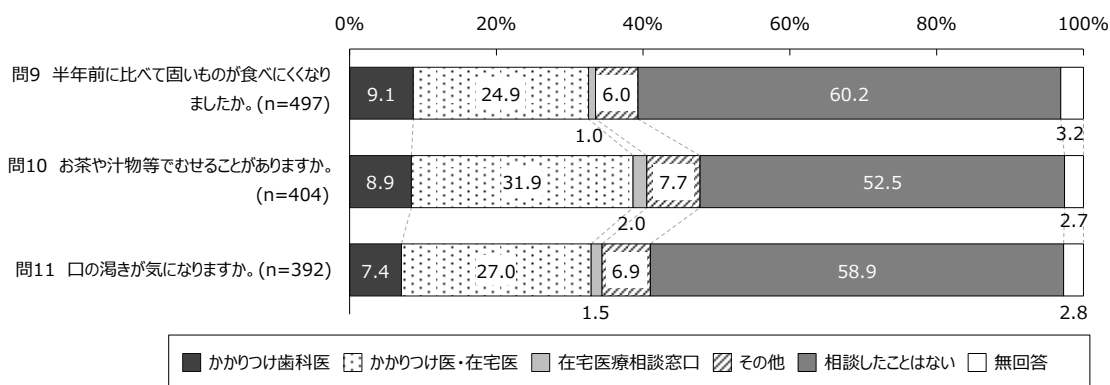
【図表 126】 摂食嚥下についての相談先



■ 摂食嚥下についての相談先<口腔機能別>

摂食嚥下についての相談先を口腔機能別にみると、いずれも『はい』と回答した人のうち「相談したことはない」の割合が最も高くなっている。

【図表 127】 摂食嚥下についての相談先 <問9~11 口腔機能の設問で「はい」と回答した人別>



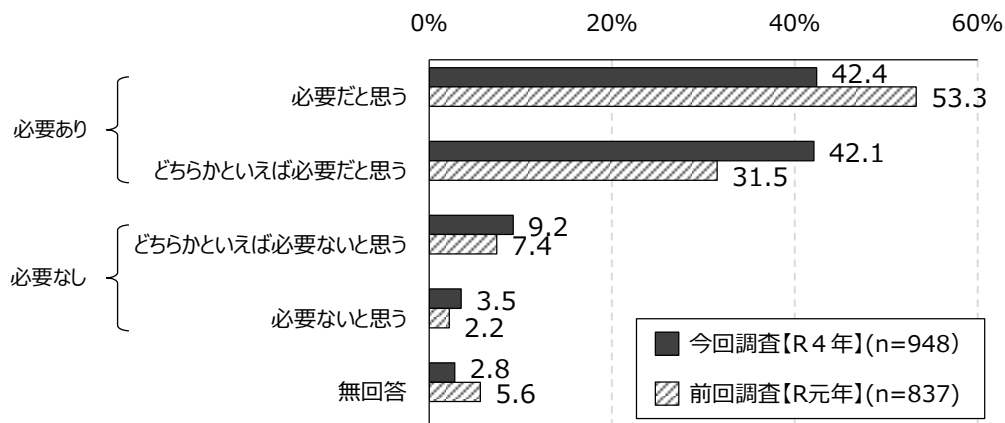
たすけあいについて

問13 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)についておたずねします。

(1)地域のつながりの必要性

地域のつながりの必要性については、「必要だと思う」(42.4%)と「どちらかといえば必要だと思う」(42.1%)を合わせた“必要あり”は84.5%となっている。

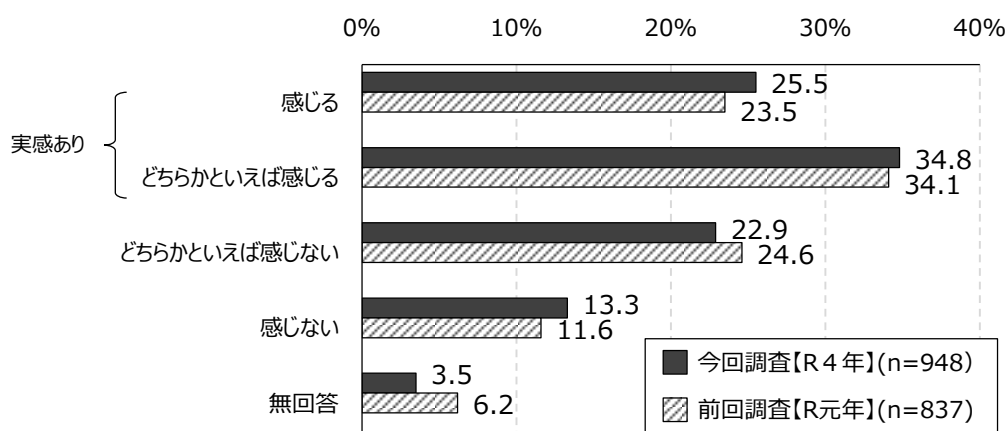
【図表 128】地域のつながりの必要性〈前回比較〉



(2)地域のつながりの実感

地域のつながりの実感については、「感じる」(25.5%)と「どちらかといえば感じる」(34.8%)を合わせた“実感あり”は60.3%となっている。

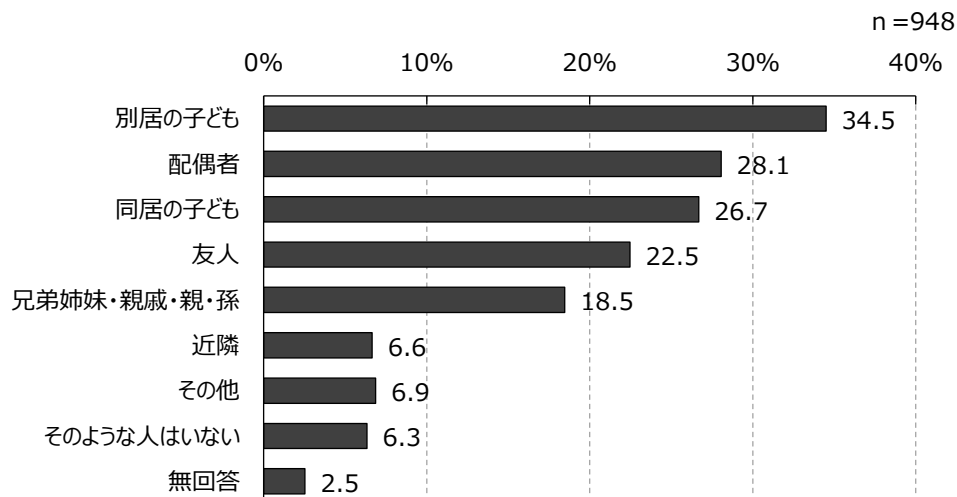
【図表 129】地域のつながりの実感〈前回比較〉



問14 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(複数回答)

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「別居の子ども」が34.5%と最も多く、次いで「配偶者」が28.1%、「同居の子ども」が26.7%となっている。

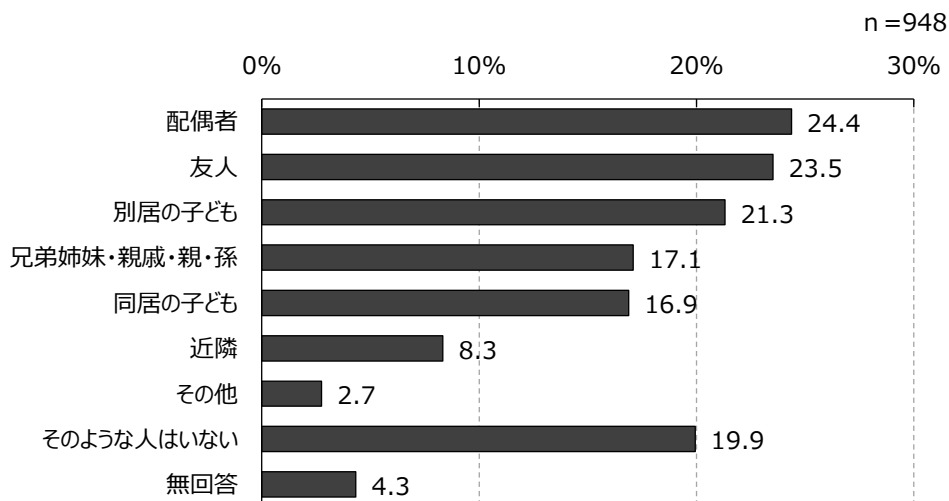
【図表 130】 心配事や愚痴を聞いてくれる人



問15 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(複数回答)

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が24.4%と最も多く、次いで「友人」が23.5%、「別居の子ども」が21.3%となっている。

【図表 131】 心配事や愚痴を聞いてあげる

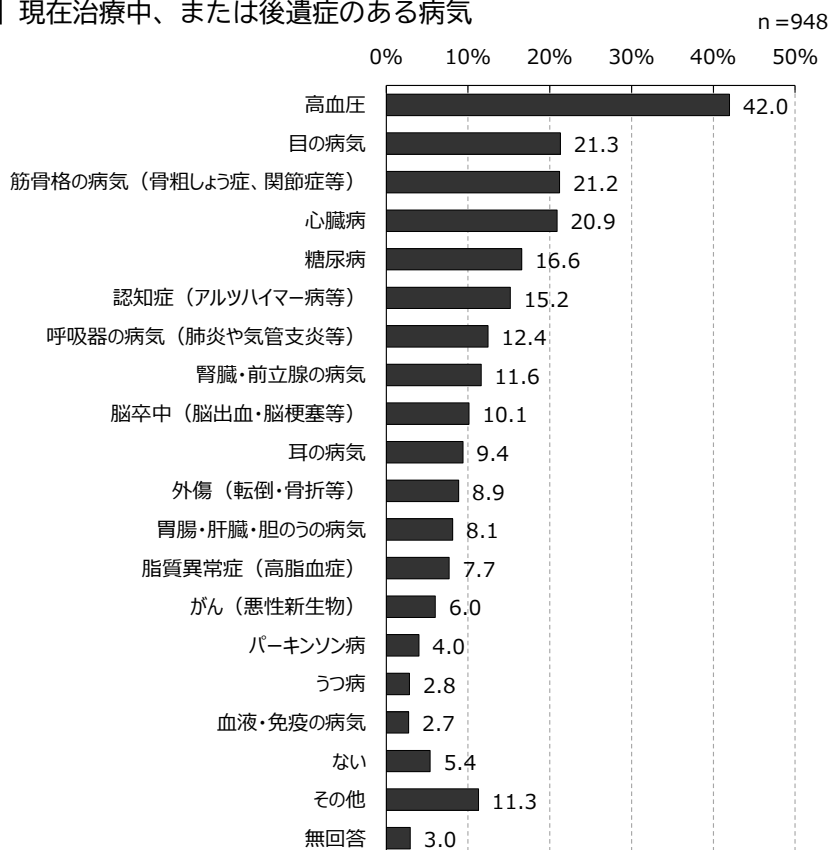


健康状態について

問16 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答)

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が42.0%と最も多く、次いで「目の病気」が21.3%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が21.2%となっている。

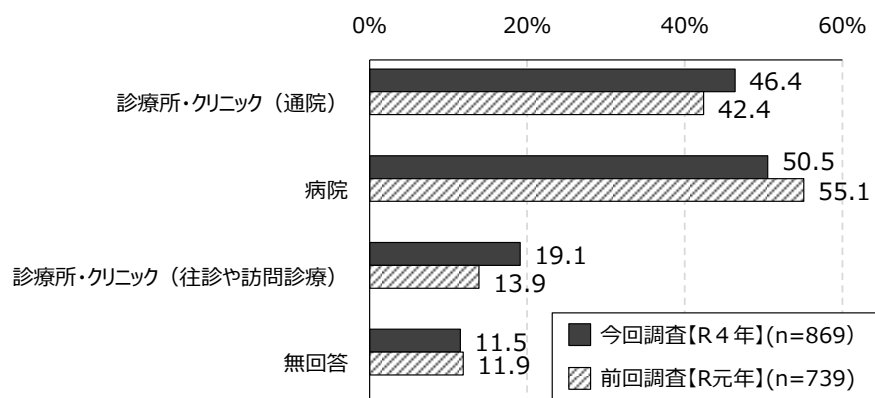
【図表 132】 現在治療中、または後遺症のある病気



問16-1 受診している医療機関は、次のうちどれですか。(複数回答)

現在治療中、または後遺症のある病気について『ある』と回答した人に、受診している医療機関を聞いたところ、「病院」が50.5%と最も多く、次いで「診療所・クリニック（通院）」が46.4%、「診療所・クリニック（往診や訪問診療）」が19.1%となっている。

【図表 133】 受診している医療機関〈前回比較〉

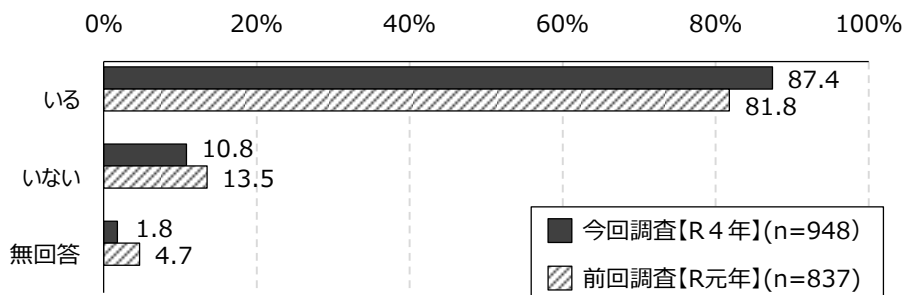


かかりつけの医療機関について

問17 あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気軽に相談できる診療所・クリニックの「かかりつけ医」がいますか。

かかりつけ医の有無については、「いる」が87.4%、「いない」が10.8%となっている。

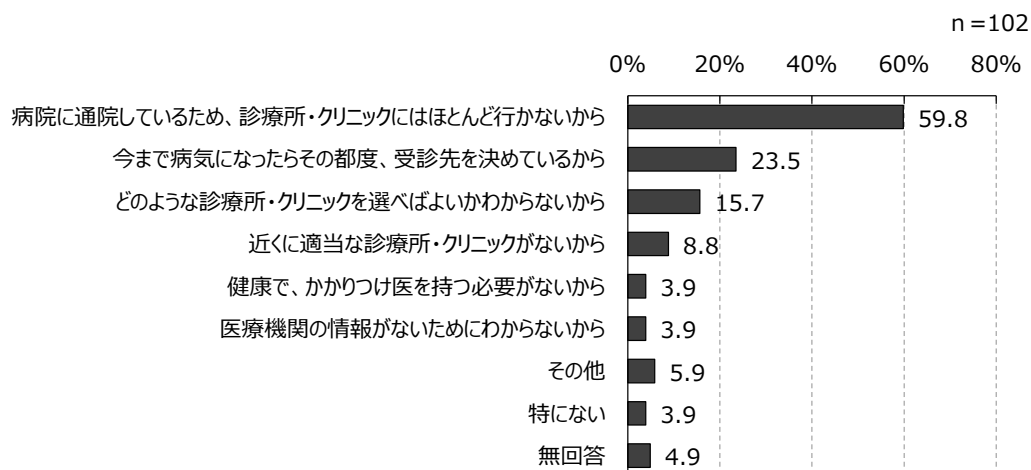
【図表 134】 かかりつけ医の有無



問17-1 かかりつけ医がいない理由は、次のうちどれですか。(複数回答)

かかりつけ医が「いない」と回答した人にその理由を聞いたところ、「病院に通院しているため、診療所・クリニックにはほとんど行かないから」が59.8%と最も多く、次いで「今まで病気になったらその都度、受診先を決めているから」が23.5%、「どのような診療所・クリニックを選べばよいかわからないから」が15.7%となっている。

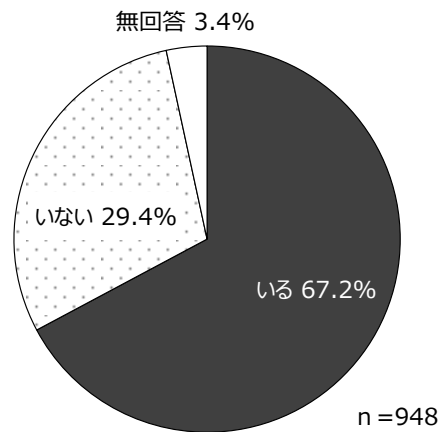
【図表 135】 かかりつけ医がいない理由



問18 あなたは、治療や予防のために定期的に受診している「かかりつけ歯科医」がいますか。

かかりつけ歯科医の有無については、「いる」が67.2%、「いない」が29.4%となっている。

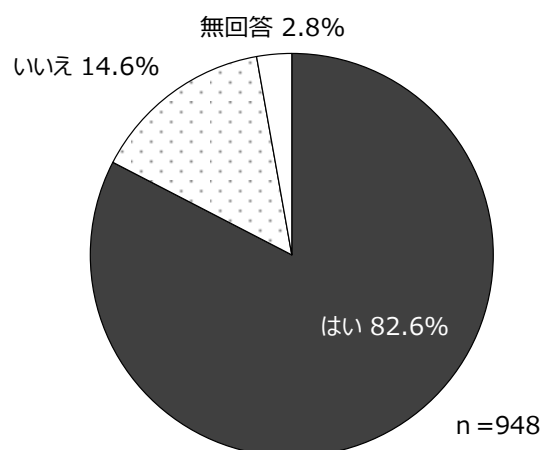
【図表 136】 かかりつけ歯科医の有無



問19 あなたは、病院・診療所から処方された薬について相談できる「かかりつけ薬局」がありますか。

かかりつけ薬局の有無については、「はい」が82.6%、「いいえ」が14.6%となっている。

【図表 137】 かかりつけ薬局の有無

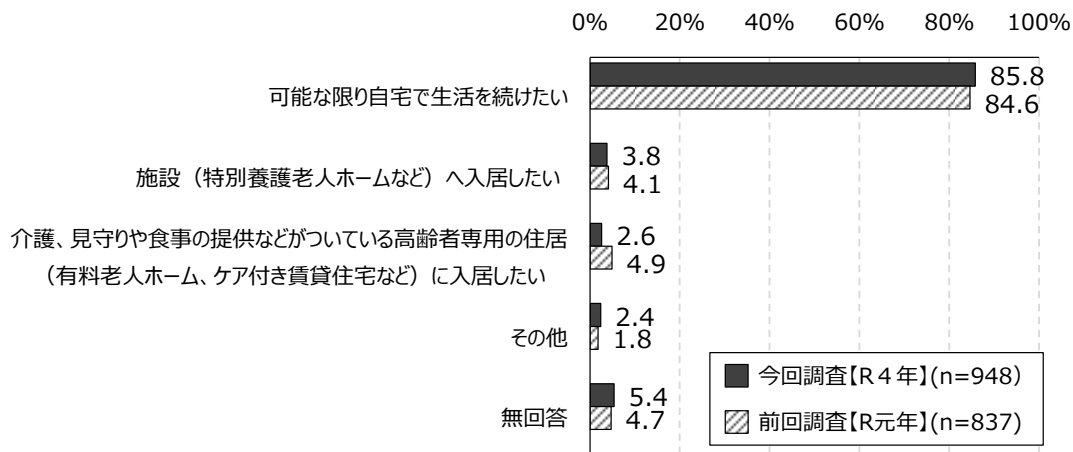


在宅療養等について

問20 あなたは、これからも今のお住まい(自宅等)で生活を続けたいと思いますか。

これからも今の住まいで生活を続けたいと思うかについては、「可能な限り自宅で生活を続けたい」が85.8%と最も多くなっている。

【図表 138】今の住まいで生活を続けたいと思うか〈前回比較〉

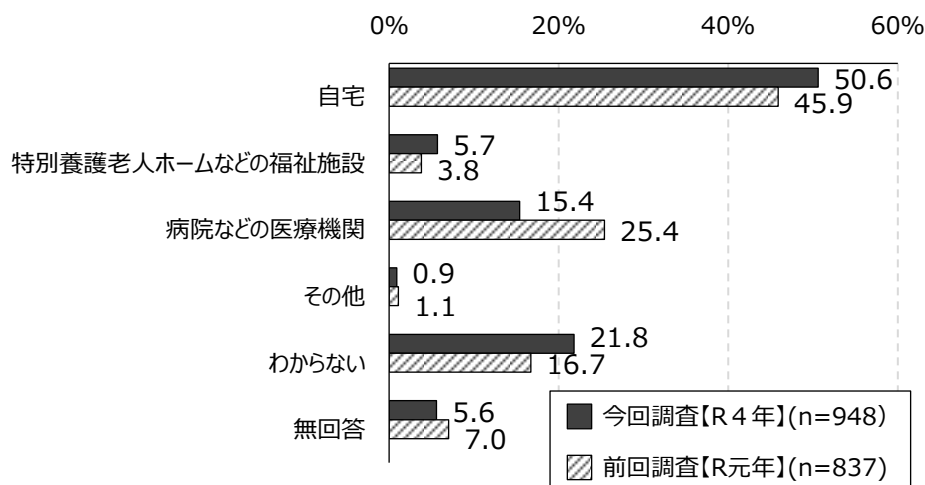


ACP（人生会議）について

問21 あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。

自身の最期を迎えたい場所については、「自宅」が50.6%と最も多く、次いで「わからない」が21.8%、「病院などの医療機関」が15.4%、となっている。

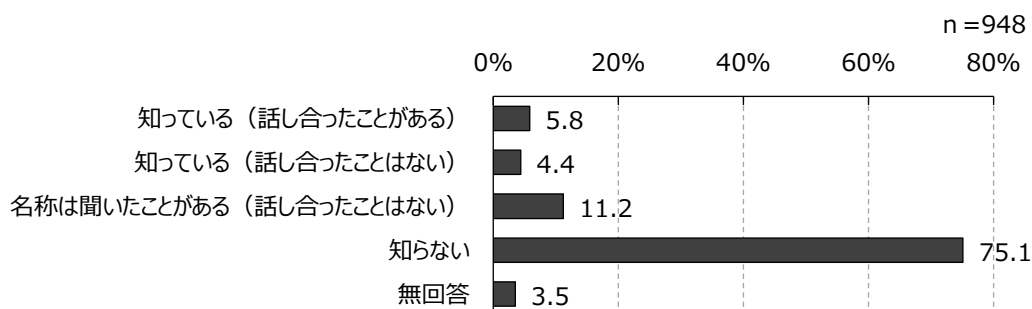
【図表 139】最期を迎えたい場所〈前回比較〉



問22 あなたは、ACP(人生会議)について知っていますか。

ACP（人生会議）についての認知度は、「知らない」が75.1%と最も多く、次いで「名称は聞いたことがある（話し合ったことはない）」が11.2%、「知っている（話し合ったことがある）」が5.8%となっている。

【図表 140】ACP（人生会議）の認知度

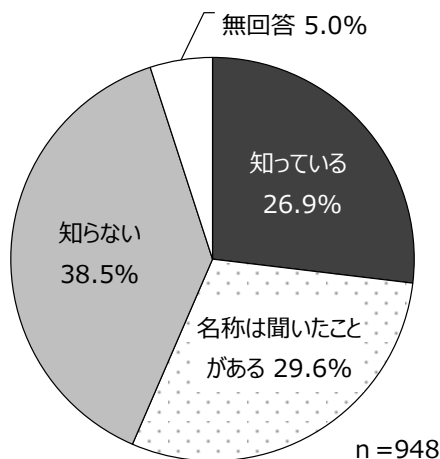


緩和ケアについて

問23 あなたは、「緩和ケア」について、知っていますか。

緩和ケアについての認知度は、「知らない」が38.5%と最も多く、次いで「名称は聞いたことがある」が29.6%、「知っている」が26.9%となっている。

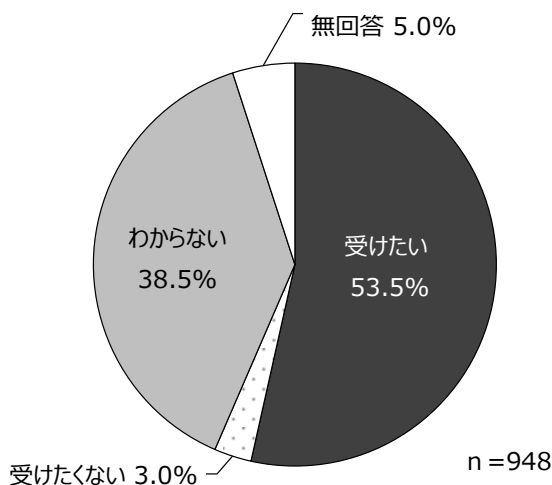
【図表 141】 緩和ケアの認知度



問24 あなたは、緩和ケアが必要になった時、早期から痛みやつらさの緩和を主とした「緩和ケア」を受けたいですか。

緩和ケアが必要になった時、緩和ケアを受けたいと思うかについて、「受けたい」が53.5%と最も多く、次いで「わからない」が38.5%、「受けたくない」が3.0%となっている。

【図表 142】 緩和ケアを受けたいと思うか

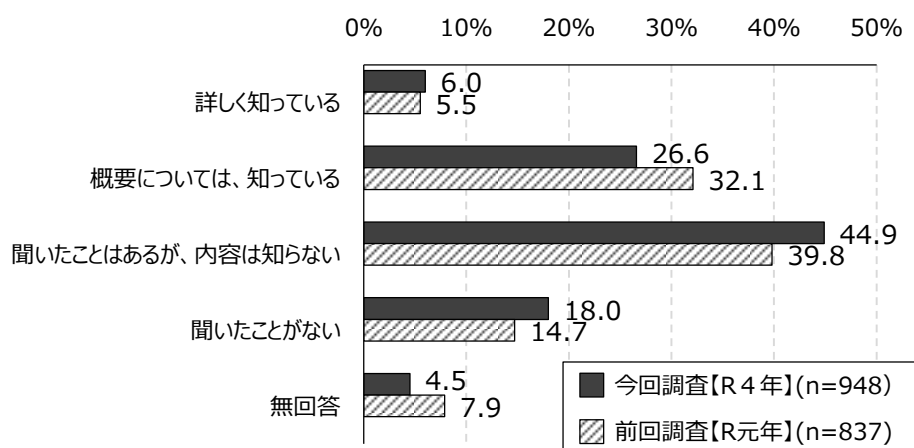


権利擁護について

問25 あなたは、成年後見制度を知っていますか。

成年後見制度の認知度については、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が44.9%と最も多く、次いで「概要については、知っている」が26.6%、「聞いたことがない」が18.0%となっている。

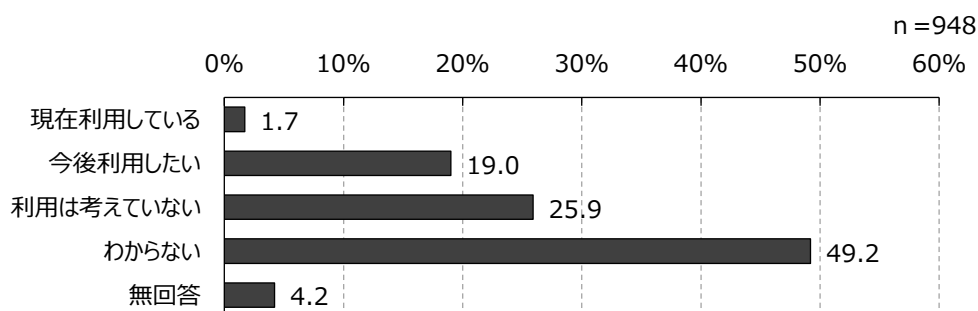
【図表 143】成年後見制度の認知度〈前回比較〉



問26 あなたは、あなた自身あるいは家族・親族が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

自身あるいは家族・親族が認知症等により判断能力が十分でなくなったときの成年後見制度の利用意向について、「わからない」が49.2%と最も多く、次いで「利用は考えていない」が25.9%、「今後利用したい」が19.0%となっている。

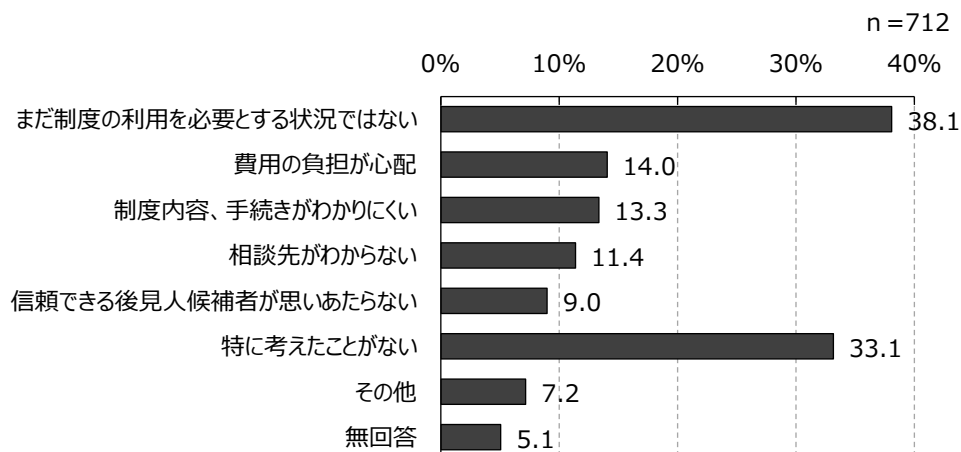
【図表 144】成年後見制度の利用意向



問26-1 成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。
(複数回答)

成年後見制度の利用意向で「利用は考えていない」、「わからない」と回答した人にその理由を聞いたところ、「まだ制度の利用を必要とする状況ではない」が38.1%と最も多く、次いで「特に考えたことがない」が33.1%、「費用の負担が心配」が14.0%となっている。

【図表 145】 成年後見制度を利用しない理由

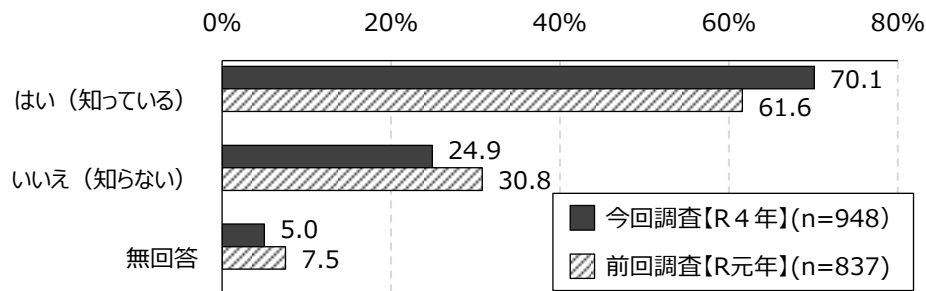


健康・福祉サービスの情報や相談窓口について

問27 あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称を知っていますか。

高齢者総合相談センターの名称の認知度については、「はい」が70.1%、「いいえ」が24.9%となっている。

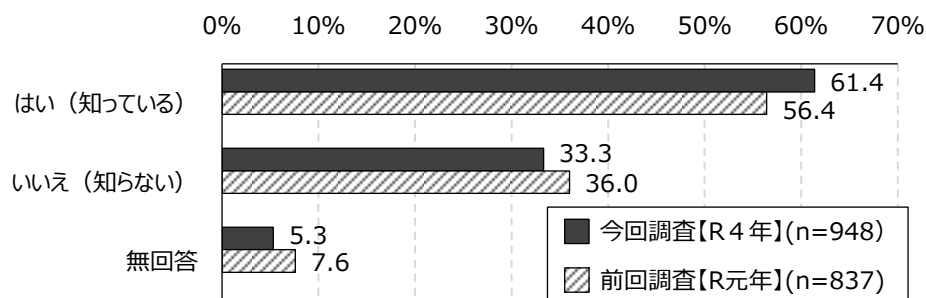
【図表 146】 高齢者総合相談センターの名称の認知度〈前回比較〉



問28 あなたは、「高齢者総合相談センター」が何をする機関か知っていますか。

機能の認知度については、「はい」が61.4%、「いいえ」が33.3%となっている。

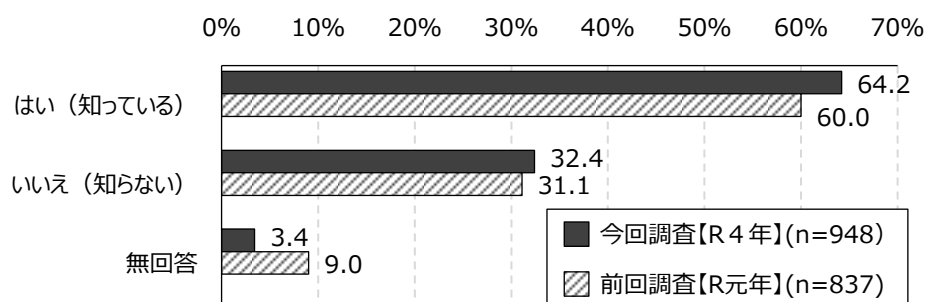
【図表 147】 高齢者総合相談センターの機能の認知度〈前回比較〉



問29 あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるか知っていますか。

所在地の認知度については、「はい」が64.2%、「いいえ」が32.4%となっている。

【図表 148】 高齢者総合相談センターの所在地の認知度〈前回比較〉

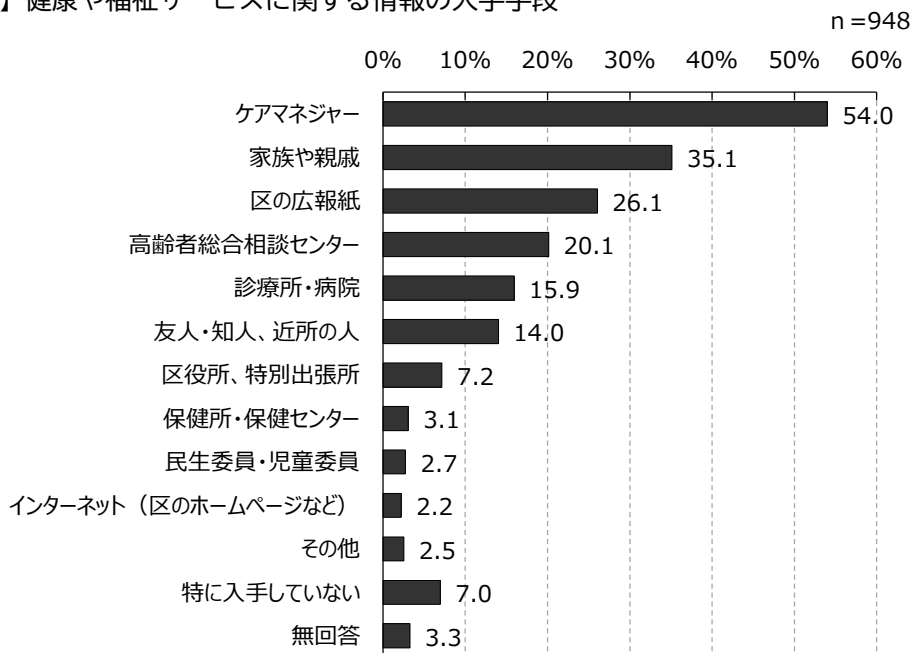


問30 健康や福祉サービスに関する情報についてうかがいます。

(1)あなたは日ごろ、健康や福祉サービスに関する情報をどのような手段で入手していますか。(複数回答)

健康や福祉サービスに関する情報の入手手段について、「ケアマネジャー」が54.0%と最も多く、次いで「家族や親戚」が35.1%、「区の広報紙」が26.1%となっている。

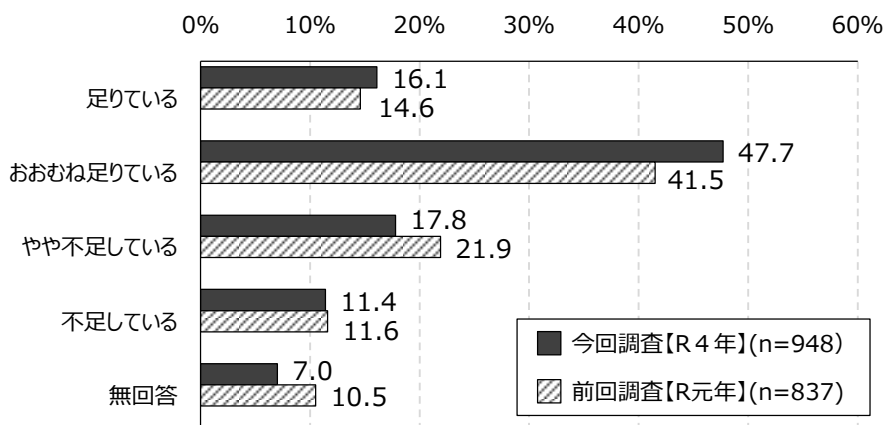
【図表 149】健康や福祉サービスに関する情報の入手手段



(2)あなたの入手している健康や福祉サービスに関する情報量は足りていると思いますか。

健康や福祉サービスに関する情報量の充足度について、「おおむね足りている」が47.7%と最も多く、次いで「やや不足している」が17.8%、「足りている」が16.1%となっている。

【図表 150】健康や福祉サービスに関する情報量の充足度 (前回比較)

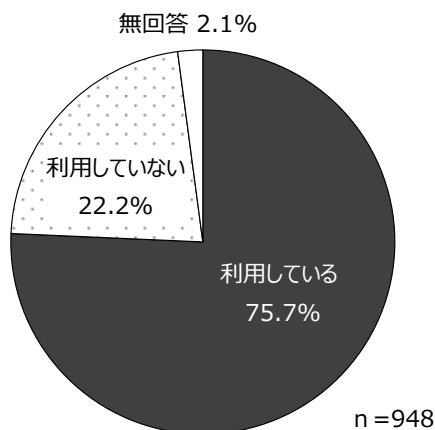


介護保険サービスの利用状況と利用意向について

問31 あなたは、現在介護保険サービスを利用していますか。

介護保険サービスの利用の有無については、「利用している」が75.7%、「利用していない」が22.2%となっている。

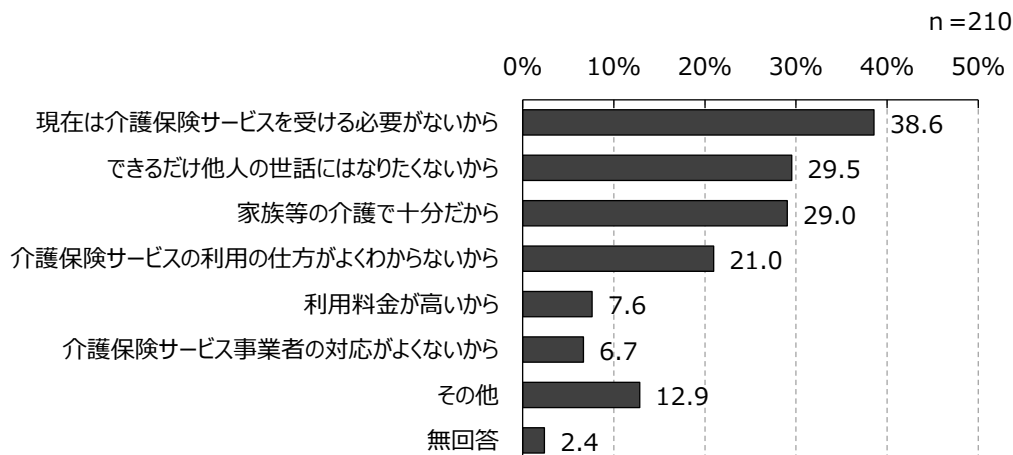
【図表 151】 介護保険サービスの利用の有無



問31-1 介護保険サービスを利用していない理由は、次のうちどれですか。 (複数回答)

現在介護保険サービスを「利用していない」と回答した人にその理由を聞いたところ、「現在は介護保険サービスを受ける必要がないから」が38.6%と最も多く、次いで「できるだけ他人の世話にはなりたくないから」が29.5%、「家族等の介護で十分だから」が29.0%となっている。

【図表 152】 介護保険サービスを利用していない理由

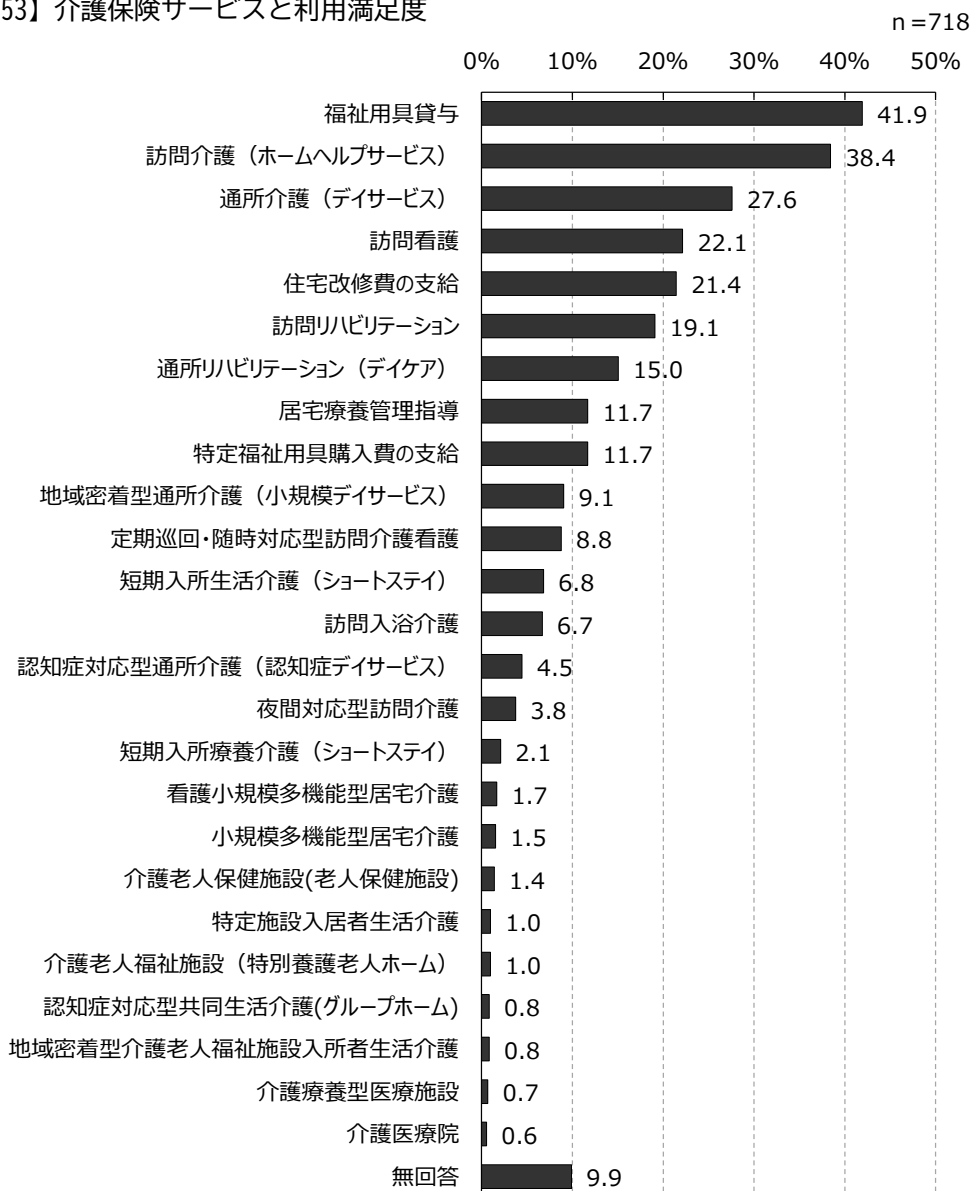


問31-2 現在ご利用の介護保険サービスと利用満足度についておたずねします。

(1)現在利用しているサービス(複数回答)

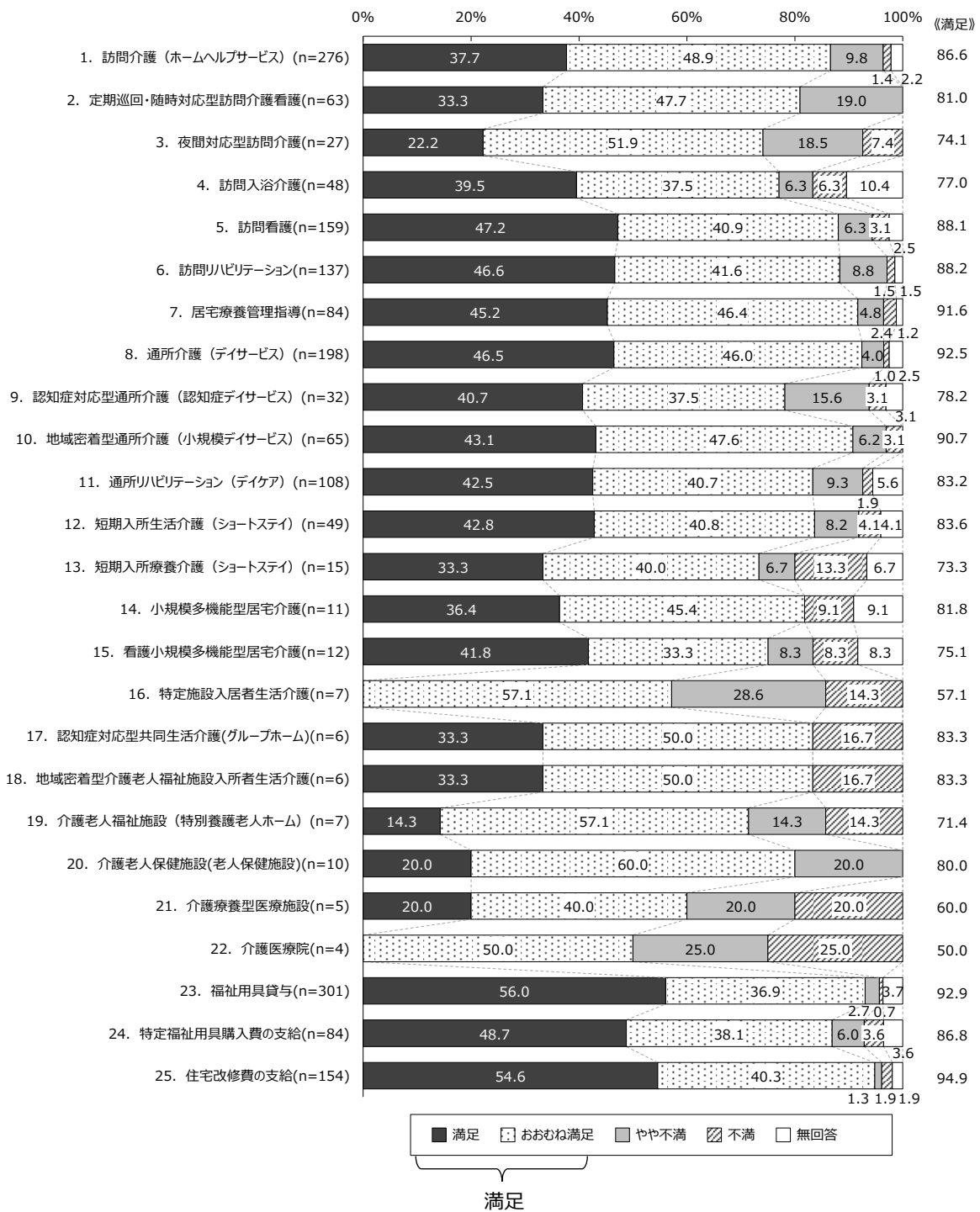
現在介護保険サービスを「利用している」と回答した人に利用しているサービスを聞いたところ、「福祉用具貸与」が41.9%と最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が38.4%、「通所介護（デイサービス）」が27.6%となっている。

【図表 153】 介護保険サービスと利用満足度



(2)現在利用しているすべてのサービスの満足度

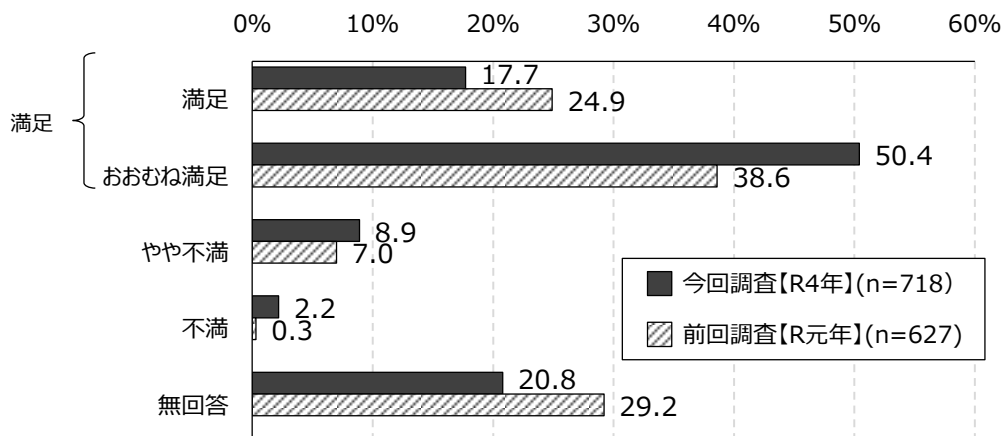
【図表 154】 現在利用しているすべてのサービスの満足度



(3)介護保険サービスの総合的な満足度は、次のうちどれですか。

現在介護保険サービスを「利用している」と回答した人に利用しているサービスの総合的な満足度を聞いたところ、「おおむね満足」が50.4%と最も多く、「満足」(17.7%)を合わせた“満足”は68.1%となっている。

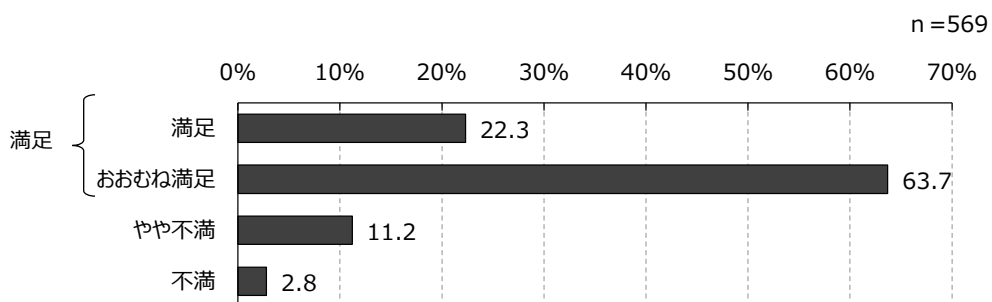
【図表 155】 介護保険サービスの総合的な満足度〈前回比較〉



<介護保険サービスの総合的な満足度(無回答を除いた集計)>

介護保険サービスの総合的な満足度について、無回答を除いた「満足」と「おおむね満足」を合わせた“満足”は86.0%となっている。

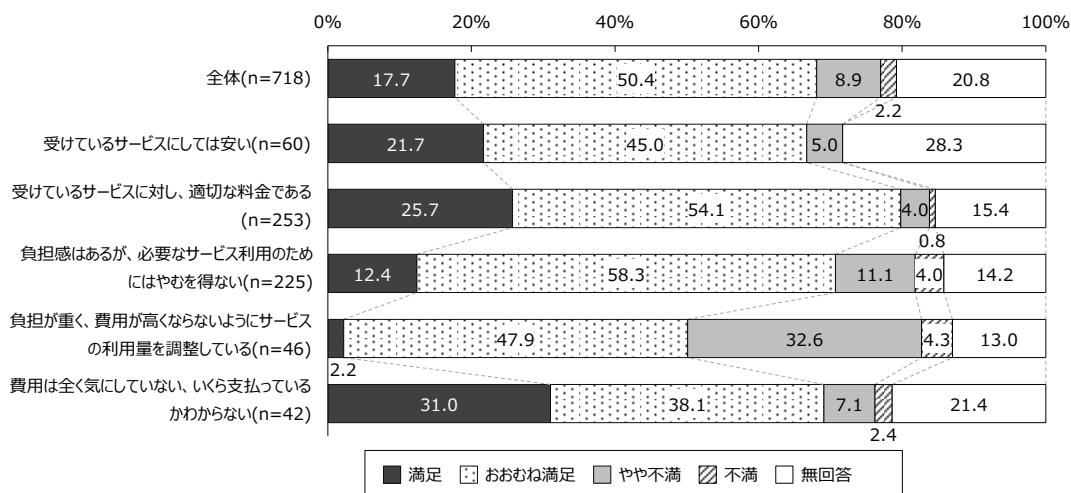
【図表 156】 介護保険サービスの総合的な満足度 (無回答を除いた集計)



■介護保険サービスの総合的な満足度〈介護保険サービスの利用に要する費用感別〉

介護保険サービスの利用に要する費用感別にみると、「受けているサービスに対し、適切な料金である」と回答した人のうち、8割弱が「満足」、「おおむね満足」と回答している。

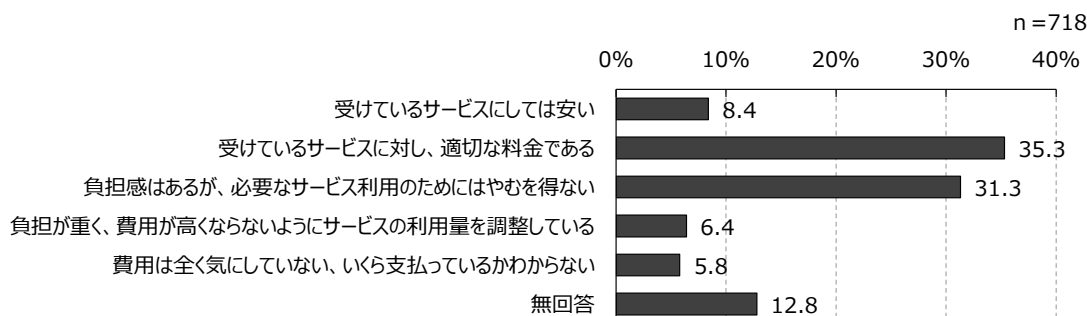
【図表 157】介護保険サービスの総合的な満足度〈問 31-3 介護保険サービスの利用に要する費用感別〉



問31-3 介護保険サービスの利用に要する費用(1割～3割の利用者負担)について、
どのようにお感じですか。

現在介護保険サービスを「利用している」と回答した人にサービスの利用に要する費用について聞いたところ、「受けているサービスに対し、適切な料金である」が35.3%と最も多く、次いで「負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない」が31.3%、「受けているサービスにしては安い」が8.4%となっている。

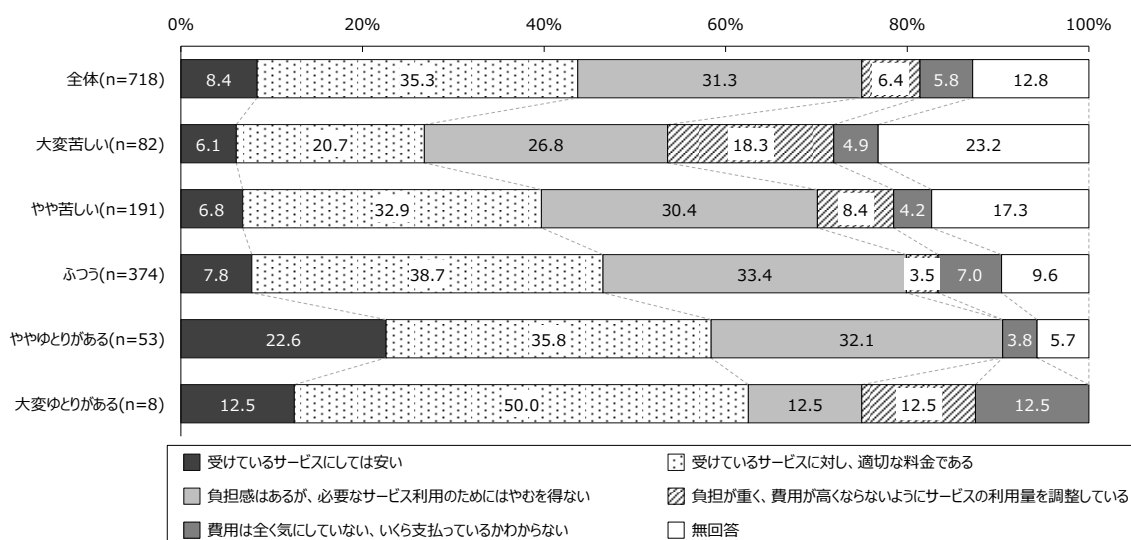
【図表 158】 介護保険サービスの利用に要する費用について



■介護保険サービスの利用に要する費用について〈暮らし向き別〉

サービスの利用に要する費用について暮らし向き別にみると、暮らしにゆとりがあると感じている人ほど「受けているサービスにしては安い」、「受けているサービスに対し、適切な料金である」の割合が高くなっている。

【図表 159】 介護保険サービスの利用に要する費用について 〈問7暮らし向き別〉



問32 介護保険サービスで、あなたが今後新たに利用してみたい(または続けたい)ものは、次のうちどれですか。(複数回答)

介護保険サービスの今後の利用意向については、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が26.6%と最も多く、次いで「福祉用具貸与」が26.2%、「通所介護（デイサービス）」が21.6%となっている。

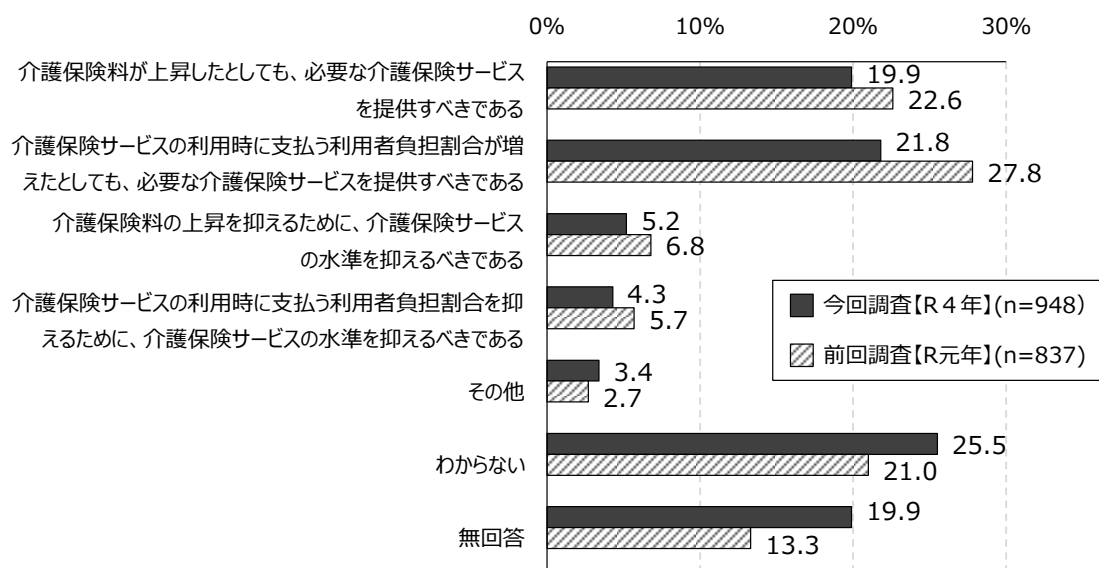
【図表 160】 介護保険サービスの今後の利用意向



問33 今後、高齢者の増加に伴い、サービスにかかる費用も増大することが予想されます。介護保険のサービスと費用負担について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。

介護保険のサービスと費用負担については、「わからない」が25.5%と最も多く、次いで「介護保険サービスの利用時に支払う利用者負担割合が増えたとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」が21.8%、「介護保険料が上昇したとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」が19.9%となっている。

【図表 161】 介護保険のサービスと費用負担〈前回比較〉



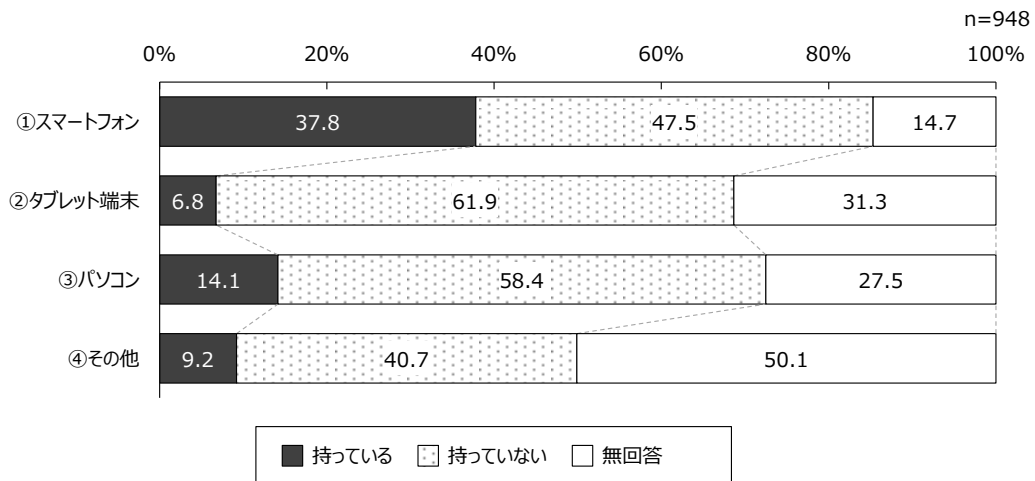
通信機器の利用状況等について

問34 通信機器の所有状況やインターネット等の利用状況についておたずねします。

(1)所有状況

通信機器の所有状況については、①スマートフォンを「持っている」が37.8%、②タブレット端末を「持っている」が6.8%、③パソコンを「持っている」が14.1%となっている

【図表 162】通信機器の所有状況



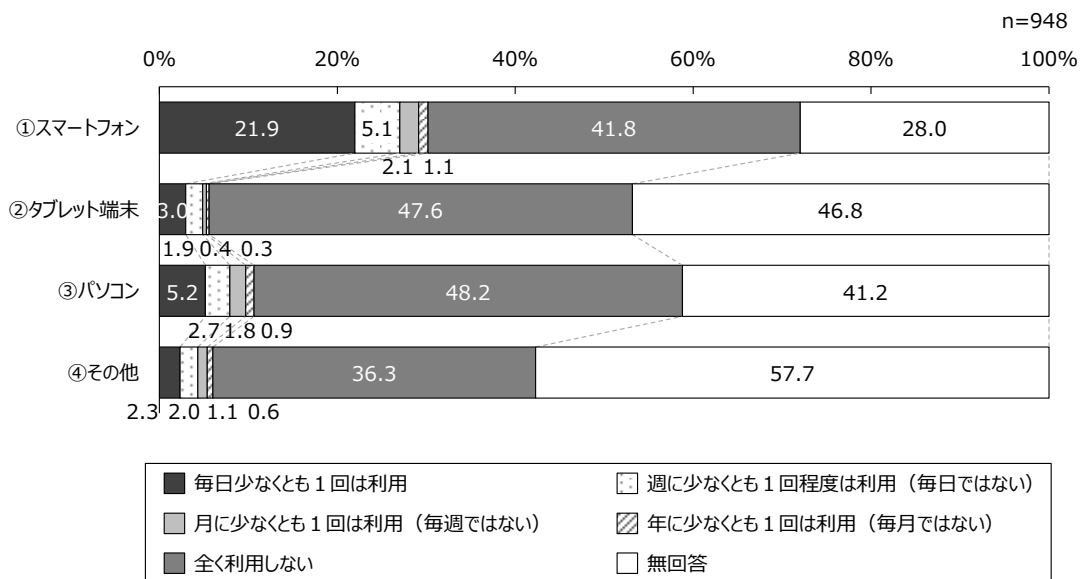
▼その他の主な内容

携帯電話（ガラケー）／固定電話 等

(2)過去1年のインターネットの利用状況

過去1年のインターネットの利用状況について、①スマートフォンでは、「全く利用しない」が41.8%と最も多く、次いで「毎日少なくとも1回は利用」が21.9%となっている。②タブレット端末では、「全く利用しない」が47.6%と最も多く、次いで「毎日少なくとも1回は利用」が3.0%となっている。③パソコンでは、「全く利用しない」が48.2%と最も多く、次いで「毎日少なくとも1回は利用」が5.2%となっている。

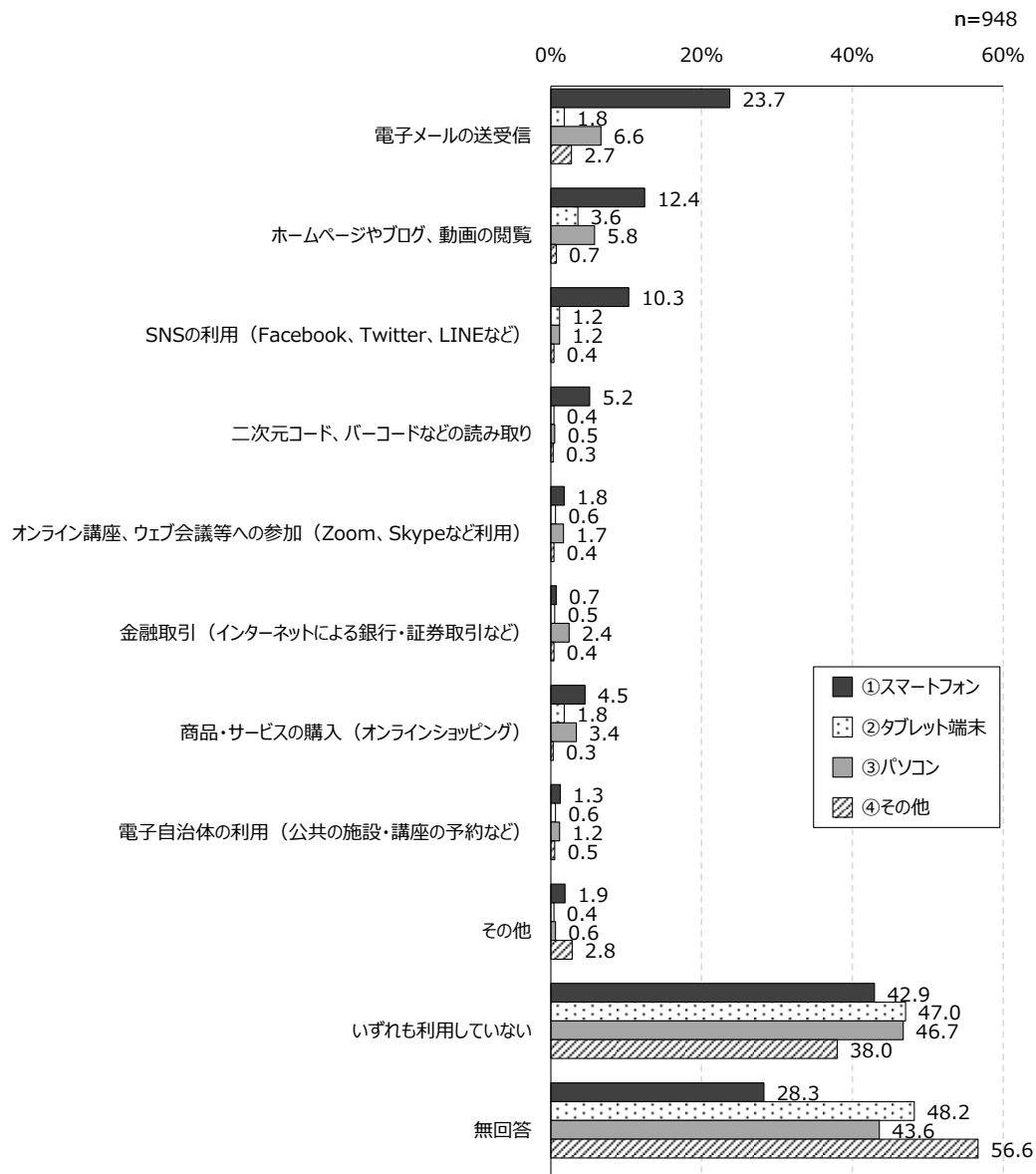
【図表 163】 過去1年のインターネットの利用状況



(3)過去1年間に利用した通信機器を使った機能・サービス(複数回答)

過去1年間に通信機器を使って利用した機能・サービスについて、①スマートフォンでは、「電子メールの送受信」が23.7%、次いで「ホームページやブログ、動画の閲覧」が12.4%となっている。②タブレット端末では「ホームページやブログ、動画の閲覧」が3.6%、次いで「電子メールの送受信」及び「商品・サービスの購入」が同率で1.8%となっている。③パソコンでは「電子メールの送受信」が6.6%、次いで「ホームページやブログ、動画の閲覧」が5.8%となっている。

【図表 164】過去1年間に通信機器を使って利用した機能・サービス



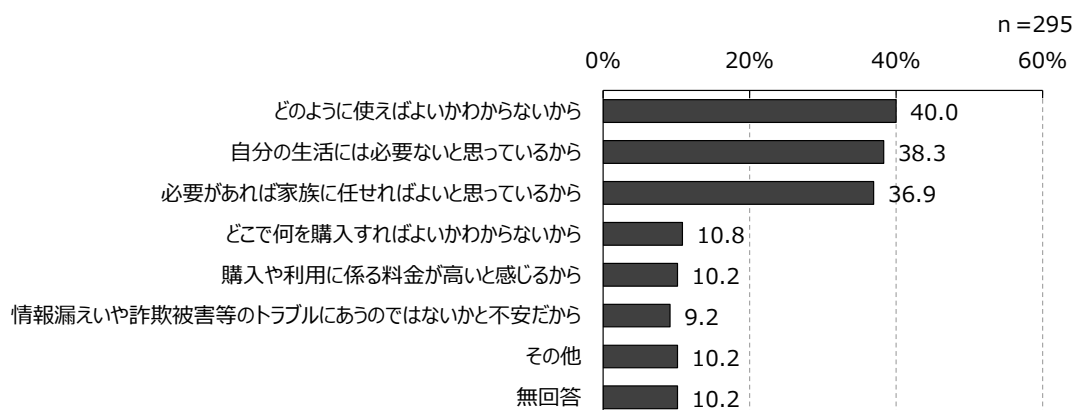
▼機能・サービスのその他の主な内容

動画配信サービス／ゲームアプリ／通話のみ 等

問34-1 スマートフォンなど通信機器を持っていない理由は何ですか。(複数回答)

すべての通信機器で「持っていない」と回答した人にその理由を聞いたところ、「どのように使えばよいかわからないから」が40.0%と最も多く、次いで「自分の生活には必要ないと思っているから」が38.3%、「必要があれば家族に任せればよいと思っているから」が36.9%となっている。

【図表 165】通信機器を持っていない理由



▼その他の主な内容

携帯電話で十分／視力低下のため／使い方がわからない／手が不自由で使えない 等

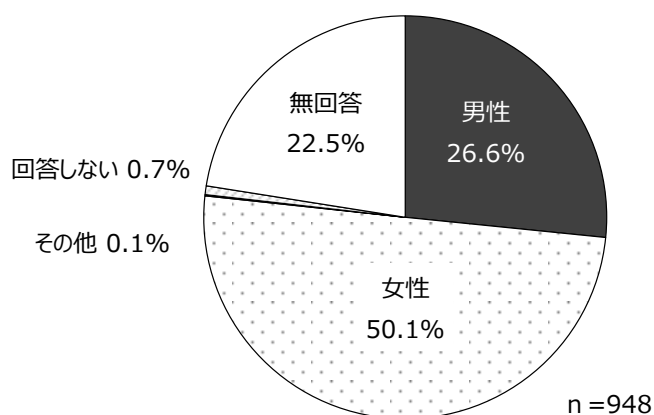
家族等介護者の状況について

★問35から問43は主な介護者の方(以下、「あなた」)におたずねします。

問35 あなたの性別を教えてください。

主な介護者の性別については、「男性」が26.6%、「女性」が50.1%となっている。

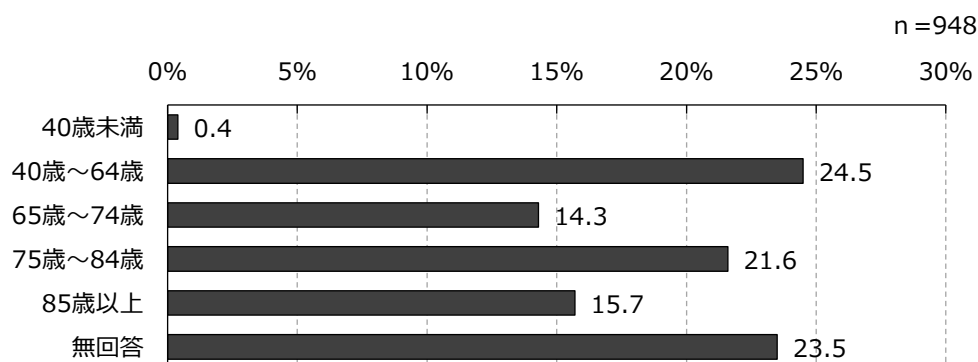
【図表 166】 主な介護者の性別



問36 あなたの年齢をご記入ください。

主な介護者の年齢については、「40歳～64歳」が24.5%と最も多く、次いで「75歳～84歳」が21.6%となっている。

【図表 167】 主な介護者の年齢

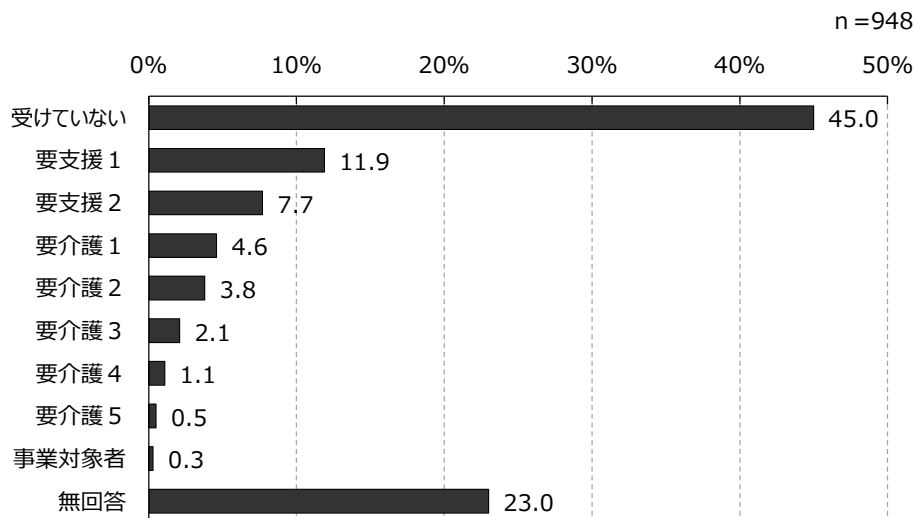


2 要支援・要介護認定者調査

問37 あなたは、介護保険の認定を受けていますか。

主な介護者の要介護認定については、「受けていない」が45.0%と最も多く、次いで「要支援1」が11.9%、「要支援2」が7.7%となっている。

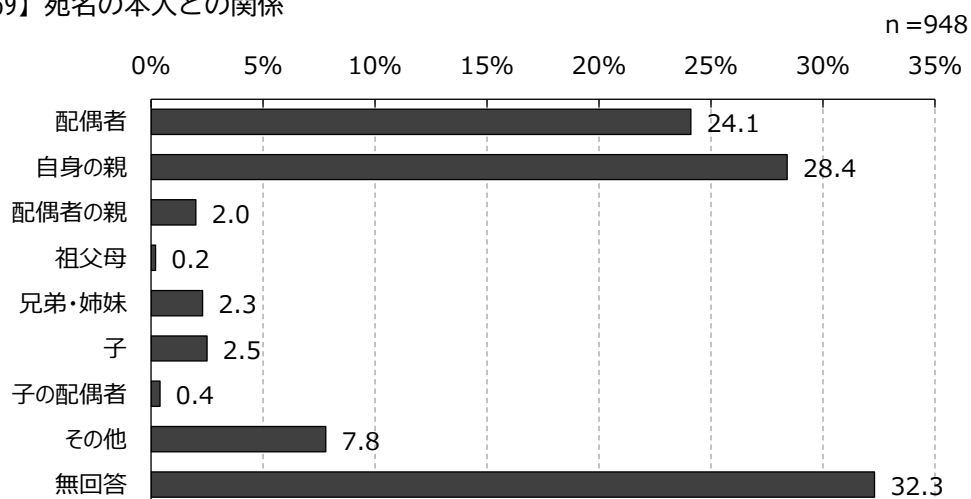
【図表 168】 主な介護者の要介護認定



問38 あなたからみて、宛名のご本人はどちらにあたりますか。

主な介護者からみた、本人の続柄については、「自身の親」が28.4%と最も多く、次いで「配偶者」が24.1%となっている。

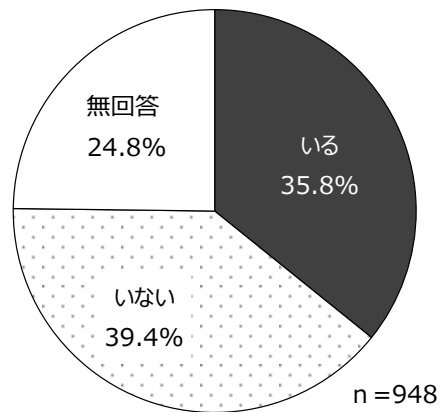
【図表 169】 宛名の本人との関係



問39 あなたを手助けするような、副介護者の方はいますか。

副介護者の有無については、「いる」が35.8%、「いない」が39.4%となっている。

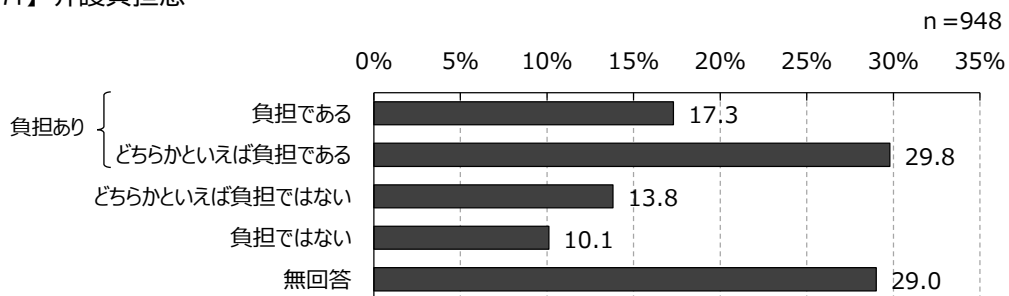
【図表 170】副介護者の有無



問40 あなたの介護負担感は、次のうちどれですか。

主な介護者の介護負担感については、「どちらかといえば負担である」が29.8%と最も多く、「負担である」(17.3%)を合わせた“負担あり”は47.1%となっている。

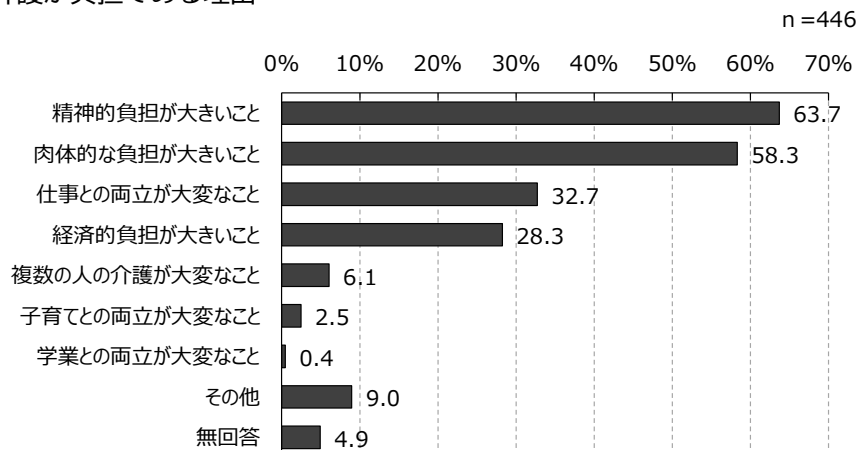
【図表 171】介護負担感



問40-1 それはどのような理由からですか。(複数回答)

主な介護者の介護負担感について「負担である」「どちらかといえば負担である」と回答した人にその理由を聞いたところ、「精神的負担が大きいこと」が63.7%と最も多く、次いで「肉体的な負担が大きいこと」が58.3%、「仕事との両立が大変なこと」が32.7%となっている。

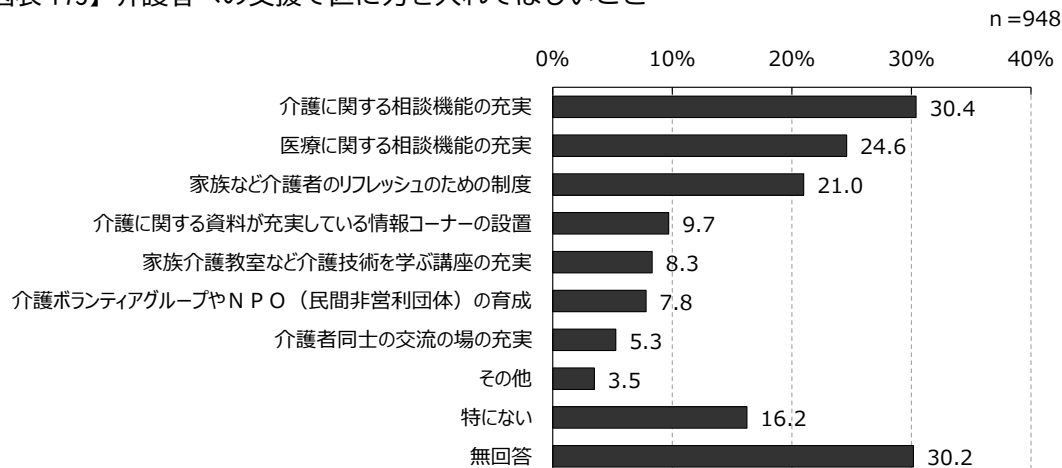
【図表 172】 介護が負担である理由



問41 介護者(あなた)への支援として、区に力を入れてほしいことは、次のうちどれですか。(複数回答)

介護者への支援で区に力を入れてほしいことについては、「介護に関する相談機能の充実」が30.4%と最も多く、次いで「医療に関する相談機能の充実」が24.6%、「家族など介護者のリフレッシュのための制度」が21.0%となっている。

【図表 173】 介護者への支援で区に力を入れてほしいこと

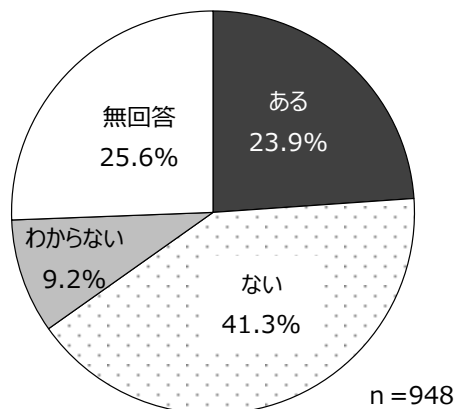


(宛名のご本人の) 認知症について

問42 あなたが介護している方(宛名のご本人)には、認知症の症状がありますか。

認知症の症状の有無については、「ない」が41.3%と最も多く、次いで「ある」が23.9%、「わからない」が9.2%となっている。

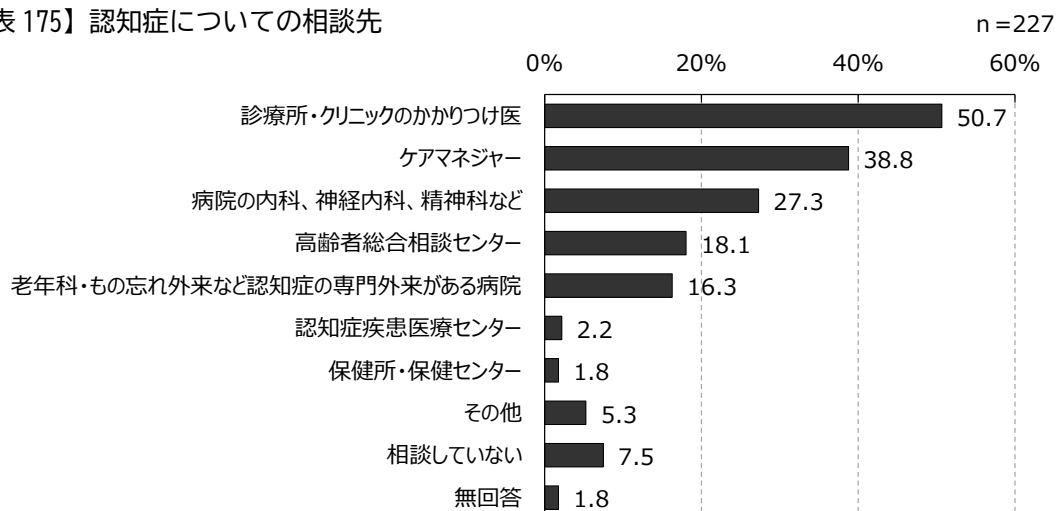
【図表 174】 認知症の症状の有無



問42-1 あなたは、介護している方が認知症ではないかと気づいた、あるいは不安になったときに、どちらに相談しましたか。(複数回答)

認知症の症状が「ある」と回答した人に相談先を聞いたところ、「診療所・クリニックのかかりつけ医」が50.7%と最も多く、次いで「ケアマネジャー」が38.8%、「病院の内科、神経内科、精神科など」が27.3%となっている。

【図表 175】 認知症についての相談先

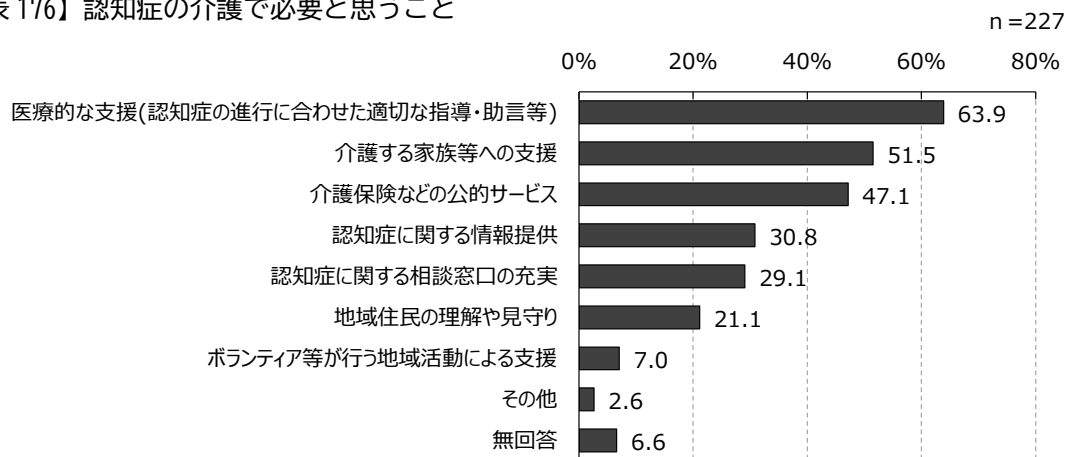


2 要支援・要介護認定者調査

問42-2 認知症のご本人の介護において、必要と思うことは何ですか。(複数回答)

認知症の症状が「ある」と回答した人に認知症の介護で必要と思うことを聞いたところ、「医療的な支援(認知症の進行に合わせた適切な指導・助言等)」が63.9%と最も多く、次いで「介護する家族等への支援」が51.5%、「介護保険などの公的サービス」が47.1%となっている。

【図表 176】 認知症の介護で必要と思うこと



自由記述

問43 介護者の立場から、高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、239人から264件の回答があった。意見を13の項目にまとめた各項目の主な意見は以下のとおり。(その他を除く)

サービスについて	52件
<ul style="list-style-type: none"> ・介護や介助のバリエーションを増やしてほしい。 ・もっと感染対策を徹底したデイケアやデイサービスを増やしてほしい。 ・日数、費用、送迎などショートステイを利用しやすくしてほしい。 ・デイサービスとショートステイが同日に使えない事やヘルパーを頼む際、病院の送迎と買い物等を続けてお願いできないことが不便。 ・利用額を抑えた状態で今までのサービスを受けられる事が理想。利用額を上げるならサービス提供者の質の向上もお願いしたい。 	
介護保険・保険料について	37件
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料が高すぎる。 ・手続きに時間がかかりすぎる。 ・介護認定や更新の際、土・日等も対応してほしいと思う。 	
家族等介護者について	34件
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症介護者の会に月1回参加することでストレスを減らせるので、本当に助かっている。 ・自宅介護と仕事との両立は負担が大きい。金銭面、精神面、体力の面でのサポートを手厚くしてほしい。 ・介護されている本人が公的なサービスを拒否するなど、介護サービスまでたどり着けない介護者が一番苦しんでいると思う。介護者が少しでも楽になるきっかけがあればと願う。 	
情報提供・相談について	33件
<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの支援があるが、申請が大変で自分が対象になるかもわかりづらい。もう少し情報がわかりやすく提供されたらよかった。 ・すべてにおいて簡単にわかりやすいようにしてほしい。 ・高齢者の保険、福祉に関する施設や介護保険についてよくわかる資料がほしい。 ・相談窓口の土・日の開放終日と時間延長をしてほしい。 	
高齢者施策について	14件
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者とその家族が安心して暮らせる住居の充実をサポートしてほしい。 ・高齢者も健康で文化的な生活を送れる制度にしてほしい。 ・医療的な支援、介護する家族等への支援。 ・育児と介護をやっている人への支援をもっと拡充してほしい。 	

2 要支援・要介護認定者調査

アンケートについて	12件
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の調査の重要性は理解しているつもりだが、質問項目が多すぎる。 ・本調査は介護を受けている者、介護をしている者（家族）にとって大変刺激的で効果が期待される。老老介護は難しいものだが、本調査ではこれに触れる事はなかった。 ・このようなアンケートは必要かもしれないが時間がないので負担ではある。書ける人はそんなに困っていない、困っている人はアンケートを書けないと思うのでこれで実態がわかるかどうかは疑問。 	
行政への要望	11件
<ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道の信号機、延長信号機の増加を希望。 ・高齢者の安全に配慮したまちづくりに期待する。年配でも安全に暮らせるということは小さな子ども、障害のある人でも生活しやすい環境につながると思う。 ・土・日(せめて土曜日に)手続きができる事が望ましいと思う。 	
認知症について	9件
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者でも気軽に立ち寄れる認知症カフェが近くにあったらいいなと思っている。 ・認知症に対して周囲が温かく見守る対応の仕方をもう少しPRしてもいいのかなと思う。 ・認知症、障害者の人々に偏見を持たない社会になるように願っている。 	
医療について	8件
<ul style="list-style-type: none"> ・受傷後のケアの期間が150日では足りない。個人的なケアは不十分で治療には経済的負担が大きい。特にコロナ後は通院が大変だった。 	
生活不安・将来不安	8件
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリの出張ができるが預金が心配。 ・精神的な負担が大きく、どう対応すればよいかわからない事が多く出てきた。 	
高齢者向け施設について	7件
<ul style="list-style-type: none"> ・介護老人福祉施設の拡充をお願いしたい。 ・特別養護老人ホームへ入りやすくしてほしい。 	
後期高齢者の医療費負担について	4件
<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険が2割負担となった。 ・医療の負担が3割になるのは知っていたが、きびしいなと思う。 	
その他	35件